

令和4年度
教育委員会の点検・評価
報告書

令和5年8月
あま市教育委員会

－ 目 次 －

1. はじめに
2. 教育委員会会議の開催状況
3. 教育委員会会議の審議状況
4. 教育委員会会議以外の活動状況
5. あま市教育立市プラン
6. 主な事業の取組状況
 - (1) 学校教育課
 - あまっ子宣言
 - 小中学校 I C T化推進事業
 - 二期制
 - スクールサポーター配置事業
 - 英語教育の推進
 - 福祉実践教室
 - 教育支援委員会
 - 特別支援教育連携協議会・幼保小連絡会
 - 全国大会等出場報奨金
 - 弁当の日
 - Ama Teachers College
 - 人権教育（あま市小中学校人権教育研究会）
 - キッズ防犯体験教室事業
 - 通学路交通安全プログラム
 - 教育相談センター事業
 - 学校教育課主催の会議
 - 学校支援会議
 - 学校運営協議会
 - 教育人材バンク「学びの道の案内人」と出前授業

- キャリアスクールプロジェクト（県委託事業）
- 特色ある学校づくり推進事業
- あま市小中学校のあり方についての検討
- 小中学校施設整備事業

（2）生涯学習課

- 生涯学習推進本部事業
- 公民館事業
- 家庭教育推進事業
- 青少年健全育成推進事業
- 文化の杜指定管理事業
- 美和文化会館事業
- 美和図書館事業
- 子ども・若者支援事業
- はたちの式事業
- あま発未来創造塾
- シルバーカレッジ事業
- 人権啓発推進事業
- 地域学校協働活動事業
- 社会教育団体育成事業
- 歴史民俗資料館事業
- 文化財保護啓発事業
- 文化財保存活用地域計画作成事業
- 社会教育施設整備事業
- 文化会館施設整備事業

（3）スポーツ課

- あま市スポーツ推進計画
- スポーツ教室
- スポーツ行事・大会

■社会体育団体育成事業

■その他スポーツ事業

■社会体育施設整備事業

(4) 学校給食センター課

■学校給食事業

7. 学識経験者による意見

1. はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定により、全ての教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表します。

また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされています。

あま市教育委員会では、効果的かつ効率的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、「教育委員会の点検・評価」を実施し、報告書にまとめました。

2. 教育委員会会議の開催状況

令和4年度は定例会を12回開催し、臨時会を1回開催しました。

(1) あま市教育委員会委員（令和5年3月31日現在）

職名	氏名	任期
教育長職務代理者	みぞぐち まさみ 溝口 正己	平成29年6月25日～令和3年6月24日 令和3年6月25日～令和7年6月24日
委員	ほりえ てつじろう 堀江 徹二郎	平成23年6月25日～平成27年6月24日 平成27年6月25日～令和元年6月24日 令和元年6月25日～令和5年6月24日
委員	おがさわら えいし 小笠原 英司	平成22年3月22日～平成22年6月24日 平成22年6月25日～平成24年6月24日 平成24年6月25日～平成28年6月24日 平成28年6月25日～令和2年6月24日 令和2年6月25日～令和6年6月24日
委員	さきの なつこ 笹野 奈津子	令和3年6月25日～令和7年6月24日
委員	なんや えみこ 南谷 恵美子 よしかわ たかこ 吉川 孝子	平成22年3月22日～令和4年6月24日 令和4年6月25日～令和8年6月24日
教育長	まつなが ひろかず 松永 裕和	平成24年4月1日～平成26年6月24日 平成26年6月25日～平成29年3月31日 平成29年4月1日～令和2年3月31日 令和2年4月1日～令和5年3月31日

(2) 教育委員会会議等

開催日	開始時間	議案件数	報告件数
令和4年 4月13日(水)	午後2時	1件	10件
5月18日(水)	午後2時	2件	8件
6月22日(水)	午後2時	3件	10件
7月15日(金)	午後2時	4件	8件
8月17日(水)	午後2時	4件	7件
9月20日(火)	午後2時	7件	12件
10月18日(火)	午後2時	4件	11件
11月18日(火)	午後2時	5件	14件
12月16日(金)	午後2時	3件	7件
令和5年 1月18日(水)	午後1時30分	3件	8件
2月13日(月)	午後2時	8件	17件
2月24日(木)	午後2時	1件	0件
3月16日(木)	午後2時	10件	22件

3. 教育委員会会議の審議状況

12回の定例会では、「後援申請」、「区域外就学、指定学校変更」、「特別支援学級の入退級」、「適応指導教室の入室」、「就学援助費の受給審査」、「特別支援教育就学援助費の受給審査」、「あま市教育委員会会議規則」、「あま市教育委員会事務局組織規則」、「あま市いじめ・不登校対策協議会設置要綱」、「あま市教育相談センター条例施行規則」、「あま市学校支援会議（緊急ケース会議）設置要綱」、「小中学校へのチラシ配布依頼基準」、「外国人の就学についての内規」、「あま市文化財保存活用地域計画作成支援業務プロポーザル審査委員会設置要綱」、「あま市放課後子ども教室実施要綱」、「あま市放課後子ども教室のあり方研究会要綱」、「あま市学校給食センター運営検証委員会要綱」、「あま市学校給食センター調理・配送等業務プロポーザル審査委員会設置要綱」、「あま市給食における食物アレルギー対応の基本方針及びマニュアル」、「令和5年度あま市立学校給食センター運営委員会の委嘱」、「令和3年度教育委員会の点検・評価報告書（案）」「補正予算（案）」、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」、「あま市公立小学校における卒業式でのマスク着用に関する請願」、「市内中学校で発生したいじめ事案」など55件の議案が協議され、活発な議論がなされました。さらに、教育長専決事項や月別長期欠席者・生徒指導報告など134件の報告を受けました。また、臨時会（令和5年2月24日開催）では、「令和5年度教職員定期人事異動内示（仮）等について（非公開）」の1件の議案が協議されました。

4. 教育委員会会議以外の活動状況

(1) 会議以外の活動状況

教育委員会会議の他にも委員は様々な活動をしました。特に小中学校の行事に積極的に参加し、教育現場の実態把握に努めました。また、市長部局と連携し、予算の確保、議会答弁等市議会と積極的かつ綿密な関係をもちながら様々な事業を展開しました。

○市教育委員会関係	32回
○教育長用務	58回
○学校教育課事業	75回
○生涯学習課事業	28回
○スポーツ課事業	17回
○学校給食センター課事業	6回
○市行事	122回
○市議会関係	29回

(2) 広域会議

- ①愛知県市町村教育委員会連合会
- ②海部地方教育事務協議会
- ③海部東部教育委員会連絡協議会
- ④全国都市教育長協議会
- ⑤東海北陸都市教育長協議会
- ⑥愛知県都市教育長協議会
- ⑦尾張部都市教育長会議

(3) 大学等との連携協力

岐阜聖徳学園大学との連携協力

令和3年10月21日に岐阜聖徳学園大学とあま市教育委員会は、連携協力に関する協定書を更新しました。最初の協定は、令和元年度に取り交わしており、本協定を更新したことで、さらに3年間連携を行います。

連携の内容

- 一 教育実習に関する事
- 二 学校インターンシップに関する事
- 三 教職員の資質向上研修等に関する事
- 四 その他、目的に資するもので双方が必要と認める事項に関する事

5. あま市教育立市プラン

あま市は、「教育立市」を進めるまちづくりを目指し、学校・家庭・地域の連携のもと、まち全体であま市の子ども（「あまっ子」）の育成を推進しています。この考えをもとに、平成24年4月に「あま市教育立市プラン」を策定し、令和4年3月に改訂を行いました。「あま市教育立市プラン」

施策1 学校の教育力を充実させ、あまっ子の学ぶ力を高める

- 子どもの学力を高めるための実践
 - 主体的、対話的で深い学びの推進
 - ICT機器を活用した授業改善の推進
 - ユニバーサル・デザインに基づく教育活動の推進
 - 二期制のメリットを生かした教育活動
- 外部人材による支援
 - スクールサポーター・ALT等の活用
 - 学生ボランティアによる学校支援活動の充実
 - 学校運営協議会（コミュニティスクール）による学校支援活動の充実
 - 大学等関係機関との連携協力の推進
- 個に応じた教育の推進
 - 教育支援・就学支援の充実
 - 特別支援教育に関する研修の充実
 - 小中連携教育の推進
 - 幼保小連携教育の推進
- 学校体育の充実
 - 学校体育の充実による体力の向上
 - 学校部活動の在り方の検討
- 食育の推進
 - 食育に関する取組
 - 弁当の日の取組
 - 食物アレルギー対策
 - 地産地消への取組
- 教職員の教師力の向上
 - 教職員の資質向上研修
 - 若い教職員の人材育成の充実
 - 教職員多忙化解消への取組

施策2 人に思いやりをもち、共に生きるあまっ子を育む

- いのちを大切に作る心の教育の推進、人権教育の推進
 - 教育活動全般での道徳活動
 - 特別の教科・道徳の実践
 - 人権教育の推進
 - SDGsについての学習の推進
- 学校安全・防災に向けた活動の充実
 - 児童生徒の安全確保のための情報共有
 - 登下校時の見守り
 - 学校内、通学路の安全確保のための取り組み
- いじめ・不登校を生まない環境づくりと早期対応に向けた取組
 - 教育相談センターでの相談、支援活動の充実
 - 各小中学校の生徒指導への支援
 - いじめ・不登校対策協議会、いじめ問題対策連絡協議会の開催
 - 学校支援会議（緊急ケース会議）の開催
 - スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの活用

施策3 開かれた学校づくり、特色ある学校づくりを進める

- 地域・家庭・学校の相互連携、地域人材の活用推進
 - 学校運営協議会を活かした学校づくり（コミュニティスクール）
 - 民生委員・児童委員との連絡会の開催
 - 学校関係者会議の開催
 - 総合的な子ども支援の推進
 - 教育人材バンク（学びの道の案内人）の活用
 - 出前授業の講座の充実
 - 地域との連携を生かしたキャリア教育の推進
 - 地域を主体とした学校施設の管理及び有効活用の推進
- 地域に開かれた特色ある学校づくりの推進
 - 特色ある学校づくりの推進
 - 学校からの情報公開、情報発信の推進
 - 学校評価制度による学校評価

施策4 学校の教育環境の整備と充実に努める

- 安全・安心な学校づくりの推進
 - 快適な学校教育環境の整備
 - ICTを活用した学習環境の整備
 - オンライン授業の実施等に向けた教育環境整備と実践
 - 児童生徒にとって望ましい学校の規模やあり方の検討と整備
 - 教職員が働きやすい教育環境の整備
- 新たな教育課題への対応
 - 教育課題検討委員会による新たな教育課題への対応

施策5 共に考え、学び、楽しむ生涯学習社会を創る

- 社会教育施策機能の充実
 - 公民館施設等を拠点とした生涯学習活動の推進
- 家庭の教育力の向上
 - 家庭教育事業の推進、企業に対する家庭教育の啓発
- 読書活動の推進
 - 図書館等の利用促進（図書室、読書室を含む）
 - 子どもの読書活動の推進
- 社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者に対する支援
 - 子ども・若者支援地域協議会、子ども・若者相談窓口における支援
- 若者世代の能力活用
 - まちづくりに関わる若者を支援
- シニア世代の能力活用
 - シニア世代の活力を地域で活かすための支援
- 人権教育の充実
 - 人権教育・啓発事業の推進
- 地域を中心とした社会活動の推進
 - 学校、地域の活動に関わる市民・団体、その他関係機関との連携による社会参加活動の推進
- 豊かな芸術文化活動の振興
 - 芸術文化活動等への支援
- 文化財の保護と積極的な活用の促進
 - 資料館を活用した郷土学習
 - 地域の歴史文化の保存と継承の推進
 - 観光、教育の場における歴史・文化財の活用
- 生涯学習活動拠点の整備
 - 社会教育施設の整備

施策6 スポーツ環境の充実に努める

- 市民のニーズにあったスポーツの推進
 - スポーツ推進計画の策定
 - 社会体育施設の充実
 - 小中学校体育施設スポーツ開放の有効活用
 - 地域スポーツ、生涯スポーツの推進
 - 青少年健全育成活動の充実

「あまっ子宣言」

あまっ子宣言（平成26年4月1日制定）

- 一 「おもしろい」気持ちを大切にします。自ら学び、世界にはばたきます。
- 一 伝統を守り、文化を創り出します。世界につながる和の心を大切にします。
- 一 人をいたわります。誠を尽くして、正しい道を進みます。
- 一 命は一人ひとつの宝物です。心と体を鍛え、大切な命を守ります。
- 一 いじめはしません。手をさしのべ、助け合う仲間づくりを目指します。
- 一 差別をなくします。自分を大切にし、相手の気持ちを考えます。

※「あまっ子」：自らの判断と責任で、諸課題に取り組むことができる力を備えたあま市の子どもに対する親しみやすい名称

6. 主な事業の取組状況

(1) 学校教育課

■あまっ子宣言

あまっ子宣言（平成26年4月1日制定）

※ あまっ子宣言の下敷きを作成し、新入学児童に配布しました。

新1年生用下敷き購入

B5版 角R カラー片面 硬質PET0.5mm厚

あまっ子宣言の唱和やあまっ子宣言を取り入れた授業等を行いました。

・評価指標

新1年生用下敷き購入数

・評価に係るエビデンス

あま市立各小学校新1年生用下敷き購入業務請書 754枚購入

● 「あまっ子宣言」の啓発実践に取り組んでいきます。

・数値目標

新1年生用下敷き800枚購入

■小中学校ICT化推進事業

国が提唱する「GIGAスクール構想」を実現するため、義務教育段階の児童生徒一人一台端末環境の実現と、市内小中学校に高速大容量の情報通信ネットワーク環境を構築し、運用しています。

○概要

一人一台タブレット端末（iPad）（教職員用・児童生徒用）8,032台

校内無線LAN網及びセンターファイアーウォール

高速大容量のインターネット通信

普通教室・職員室のiPad充電保管庫

普通教室・特別教室・パソコン教室の大型提示装置（AppleTV付）

モバイルWi-Fiルーター

オンライン有償ドリル教材、授業支援用アプリ、端末管理アプリ

タブレット端末運用管理委託・保守委託（学校ヘルプデスク）

小中学校ICT支援業務（ICT支援員）

○経緯

令和3年 3月 校内無線LAN網敷設及びセンターファイアーウォール設置

高速大容量のインターネット通信開始

一人一台タブレット端末購入納品

各教室・職員室のiPad充電保管庫設置

普通教室・特別教室の大型提示装置設置（一部未設置）

令和3年 4月 オンライン有償ドリル教材利用開始

学校ヘルプデスク運用開始

令和3年 8月 普通教室・特別教室の大型提示装置設置（完了）

令和3年12月 モバイルWi-Fiルーター購入

パソコン教室の大型提示装置設置

令和4年 4月 ICT支援員によるICT支援業務開始

GIGAスクール運営支援センター運用開始

○あま市教育課題検討委員会（GIGAスクール構想への対応について）

・第1回 4月27日（水）

・第2回 5月25日（水）

・第3回 7月13日（水）

・第4回 9月14日（水）

・第5回 11月30日（水）

・第6回 1月19日（木）

- ・第 7回 3月15日(水)
あま市教育課題検討委員会 第V期シーズン2
課題内容「あま市教育課題検討委員会答申(GIGAスクール構想への対応)」
あま市における「GIGAスクール構想充実期に向けた取組」について
- ・オンライン学習、オンライン授業の進め方
(オンライン学習、授業に向けての方向性、あり方検証)
- ・学校DX化
(教職員の業務改善と学校、保護者、地域のつながりにおいてデジタルが果たす役割)
- ・ICT支援員の利活用
(令和4年度から導入されたICT支援員の有効な活用や活用方法)

※ 一人一台端末の導入による教育改革をさらに進め、教育課題検討委員会答申作成のために、近隣自治体の様子を探りながら、学校現場の声を反映させるための意見を聴取することができました。出来る限りこの意見を反映させることができるように計画を策定し、実施していきます。

- ・評価指標
なし
- ・評価に係るエビデンス
なし
- 教育課題検討委員会は、令和5年度も引き続き開催し、学習におけるICT活用だけでなく、ICTによる教育改革、教職員の働き方改革への利活用を推進し、学校現場の声を施策に反映させるため、意見を聴取します。
- ・数値目標
なし

OGIGAスクール構想への対応に向けた研修

<ロイロノート研修(学習支援システム)>

9月 6日(火) 新機能「共有ノート」の活用方法について

<エヴァンジェリスト研修(学校での伝達研修)>

9月29日(木) テイクオーバーコンテンツライツ事業部長 我妻潤子先生
「学校における著作権を考える」

2月 9日(木) 合同会社未来教育デザイン 平井聡一郎先生
「デジタルテクノロジーを駆使した教育改革」

<ATC研修(あま市教師力アップ研修)>

8月 4日(木) 岐阜聖徳学園大学教授 芳賀高洋先生
「一人一台端末の活用を進めるうえで、大切にしたいこと」

※ 研修アンケートからも、本研修が学校におけるタブレット端末の有効的な活用のために必要な情報を提供するだけでなく、教師・児童生徒の活用能力や必要な知識を高めることにつながっているという回答を得ることができました。一人だけで実践するのではなく、仲間と相談しながら研修を受けることができるのは、特に苦手な教師にとっては有用であると言えます。ただし、一方で十分な活用に至っていない教師や児童生徒がいることも明らかになりました。

- ・評価指標
なし
- ・評価に係るエビデンス
なし
- 令和5年度も引き続き、一人一台端末(タブレット)のさらなる活用に向け、定着・発展期と位置付け、教職員への研修を行います。
- ・数値目標
なし

OGIGAスクール構想への対応に向けた校内ICT機器等の運用

適切かつ効果的にICT機器等を活用できるよう細かな運用ルールを定めたり、

実証実験を行ったりしました。

- ・電子書籍読み放題サブスクリプションサービス Yomokka! (ポプラ社) 試行
タブレット端末によりブラウザ経由で電子書籍が読み放題となるサービス
無料試行期間に限り、希望校でテスト実施をしました。

小学校7校、中学校1校で試行

有効活用に資するも価格面で折り合わず、無償期間のテスト実施のみ

- ・Kebbi プログラミング学習

児童生徒が Kebbi を使ってプログラミング学習を行うもの。

令和4年5月～令和5年2月

小学校5校、中学校2校で試行

- ・あま市内小中学校 I C T 支援業務

小中学校に導入されている又は新たに導入される I C T 機器等を有効活用し、あま市の小中学校における I C T 利用教育を促進するための支援 (以降、「I C T 支援」という。) を学校現場において教職員個人及び児童生徒に対して実施することにより、I C T 利用教育に習熟した教職員の育成、児童生徒の I C T 利活用能力の向上を図りました。

小学校12校、中学校5校で実施

1校あたり月1日、1日あたり8時間の学校現場における I C T 支援業務を行う。(17校×1日×12か月=204回(1,632時間))

I C T 支援業務の詳細

- ①授業支援 (I C T 機器等活用教育)

I C T 機器等を効果的に利用した授業作りに対する提案・助言・支援

- ②授業支援 (プログラミング教育)

小学校でのプログラミング的思考の育成、中学校の技術科でのネットワークを利用した双方性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決を学習する授業を行うための支援

- ③ティームティーチング

授業中において、教室に滞在し、授業の流れを確認、教職員や児童生徒の操作の補助、アプリケーション操作の説明、トラブル対応等の支援

- ④授業準備支援

授業にあたって、事前の打ち合わせを行い、指導内容に合わせて機器の準備や動作検証、教材準備、授業を開始するための機器の操作やアプリケーション操作の活用方法について提案・助言・支援

- ⑤教材開発支援

授業の目的・ねらいを理解し、児童生徒の情報活用能力等に配慮し、授業で利用する教材の作成を支援

- ⑥教員研修

I C T 機器等の活用状況や教職員の活用スキルなどを考慮し研修企画を提案・助言

- ⑦情報提供

授業内容に応じて参考になり得る活用事例を紹介・助言

- ⑧保守・修繕作業にあたる教職員への支援

障害が発生した時の教職員による既存システム導入・保守業者への連絡調整支援

- ⑨学校教育活動全般に係る I C T 利用へのアドバイス

教育委員会、教職員会もしくは学校内における会議への助言又は参加

※ 実際に運用しなければ見えてこない問題も多数あり、適切かつ効果的な I C T 機器等の活用のため、その都度、問題を検証・検討し、ルールを定めました。

I C T 支援業務による I C T 支援員が学校現場において教職員個人及び児童生徒に対して I C T 利活用支援を行うことにより、I C T 利用教育に習熟した教

職員の育成、児童生徒のICT利活用能力の向上を図ることができました。

・評価指標

ICT支援業務仕様書抜粋

- ①目的を達成するために、本業務の実施にあたり、下記のとおり目標を示す。
受注者は、本目標の達成に向けてICT支援業務の実施をするが、目標達成の責任を負うことはなく、目標が達成されなかったとしても、受注者に支払われる金額の変更は行われない。

年間目標

- 目標1 年度末業務完了時に全校で、ステージ0の教職員の割合が0%以下
目標2 年度末業務完了時に全校で、ステージ3以上の教職員の割合が40%以上

目標3 年度末業務完了時にティームティーチング授業を各校1回以上実施

- ②支援効果の評価指標として、「段階的なタブレット活用のイメージ」を用いる。なお、支援効果の評価は教職員による自己評価でも可とし、ステージそれぞれの行為を授業中に行ったか否かにかかわらず、それぞれの行為をする能力があればよいものとする。

「段階的なタブレット活用のイメージ」

<タブレット端末を使い始める>

ステージ0（活用なし） 教職員はタブレット端末の操作をすることができない。

<タブレット端末を授業で使う>

ステージ1（一斉学習） 教職員は児童生徒へ一斉に教材等の提示ができる。

教職員 →一方向の一斉→ 児童生徒

（例）教職員が実物投影機のように大型提示装置等に教材等を提示する。教職員が児童生徒のタブレット端末へ一斉に教材等を送付する。

ステージ2（個別学習） 教職員は児童生徒へ個別に教材等の提示ができる。

教職員 →一方向の個別→ 児童生徒

（例）教職員はタブレット端末を用いて個に応じた学習を行わせることができる。教職員は児童生徒の思考を深める学習を行わせることができ、児童生徒は個々の表現及び制作をすることができる。教職員からの課題に対して、児童生徒が個々に写真撮影や文書等の作成をすることができる。

<創造的な学び・先進的な学び>

ステージ3（個別学習） 教職員は児童生徒と双方向の教材等のやりとりをすることができる。

教職員 ←1対1の双方向→ 児童生徒

（例）教職員はタブレット端末を用いて個に応じたきめ細やかな学習を行わせることができる。児童生徒が作成したファイルを教職員に送信し、教職員は児童生徒にアドバイスや添削等をしたうえで児童生徒へ送り返す。児童生徒は教職員からの指導によりファイルの修正等を行い、再提出する。

ステージ4（協働学習） 教職員は児童生徒個人と双方向の教材等のやりとりをすることができ、児童生徒のグループと双方向の教材等のやりとりをすることができる。かつ、教職員は児童生徒の個人間の教材等のやりとりをさせることができ、児童生徒のグループ間での協働制

作をさせることができる。

教職員 ←1対1の双方向→ 児童生徒

教職員 ←1対多の双方向→ 児童生徒グループ

児童生徒 ←1対1の双方向→ 児童生徒

児童生徒 ←1対多の双方向→ 児童生徒グループ

児童生徒グループ ←多対多の双方向性 → 児童生徒グループ

(例) 児童生徒同士で、双方向のファイルのやりとり
ができ、話し合い活動や作品の制作につなげること
ができる。

・評価に係るエビデンス

令和4年度ICT支援業務評価報告書(各ステージの教職員の割合)

ステージ0 平均 0.76%

ステージ1 平均 17.90%

ステージ2 平均 29.39%

ステージ3 平均 34.44% ステージ3以上 51.95%

ステージ4 平均 17.50%

令和4年度ICT支援業務完了届(年間実施回数)

ア 授業支援(ICT機器等活用教育) 131回

イ 授業支援(プログラミング教育) 45回

ウ ティームティーチング 214回

エ 授業準備支援 321回

オ 教材開発支援 12回

カ 教員研修 95回

キ 情報提供 153回

ク 保守・修繕作業にあたる教職員への支援 310回

ケ 学校教育活動全般に係るアドバイス 251回

● 令和5年度も引き続き、適切かつ効果的なICT機器等の活用のため、様々な問題について検証・検討し、さらなる授業へのICT機器等の活用を図ります。

・数値目標

ICT支援業務の年間目標

目標1 年度末業務完了時に全校で、ステージ0の教職員の割合が0%以下

目標2 年度末業務完了時に全校で、ステージ3以上の教職員の割合が60%以上

目標3 年度末業務完了時にチームティーチング授業を各校1回以上実施

○ ICT機器等購入及びICT機器等修繕並びに工事

・ICT機器等購入

故障等によるタブレット端末の買い替え 29台

周辺機器等の購入

アクセスポイント追加購入 3件(宝小、篠田小及び七宝中学校)

・ICT機器等修繕

タブレット端末周辺機器修繕 3件(七宝小、篠田小及び甚目寺南小学校)

・ICT機器等工事

校舎増築、学級増等によるタブレット充電保管庫設置工事 4件
(甚目寺西小、篠田小及び甚目寺中学校)

次年度教室配置替えによるタブレット充電保管庫移設工事 3件
(美和小、美和中及び甚目寺南中学校)

※ 購入及び修繕を実施することにより、児童生徒が安全安心に使用できるICT機器環境の整備を進めることができました。

・評価指標

備品購入費及び修繕・工事費

・評価に係るエビデンス

令和4年度予算執行実績

備品購入費 1,968,230円

修繕費 321,750円

工事費 1,491,600円

合計 3,781,580円

●安全安心で快適な教育環境を整えるため、今後もICT機器等の整備に努めていきます。

・数値目標

なし

■二期制

市内全小中学校において、二期制を実施しました。

○あま市二期制の経緯

- ・平成19年度から、七宝北中学校において学校目標を実現させる手立ての一つとして二期制を実施
- ・合併後、七宝北中学校を二期制の研究校とし、教育委員会の承認を受け二期制を継続実施
- ・平成29年度から、市内5中学校において二期制を実施
- ・平成30年度から、市内全小中学校において二期制を実施

○二期制の概要

- ・従来の三学期制のまま、1年を前期と後期の二期に分ける。
入学式・始業式→夏休み→引継ぎ式→冬休み→卒業式・修了式
- ・令和4年度は、二期制を実施してから5年目となり、保護者、児童生徒が三学期制との比較が難しくなっているため、市内の教師に二期制の効果についてのアンケートを実施しました。アンケートの結果（一部抜粋）は以下のとおりです。

アンケート結果（一部抜粋）

（市内小中学校の教職員対象）

設問1			
二期制であることで、授業時間は確保できており、計画的に授業を進めることができ、子どもたちの確かな学力の定着につながっている。			
No	回答	人数	割合
1	あてはまる	172	41.4%
2	だいたいあてはまる	224	54.0%
3	あまりあてはまらない	17	4.1%
4	あてはまらない	2	0.5%
設問2			
二期制であることで、行事や体験活動など、子どもたちの興味・関心を高める、魅力ある教育活動を充実させることで、子どもたちはいきいきと学校生活を送ることができている。			
No	回答	人数	割合
1	あてはまる	137	33.0%
2	だいたいあてはまる	236	56.9%
3	あまりあてはまらない	37	8.9%
4	あてはまらない	5	1.2%
設問3			
二期制であることで、学校生活や進路選択などについて、子ども一人一人とじっくり向き合う時間があり、よりよい学校生活や進路選択をするための手助けになっている。			

No	回 答	人 数	割 合
1	あてはまる	143	34.5%
2	だいたいあてはまる	240	57.8%
3	あまりあてはまらない	29	7.0%
4	あてはまらない	3	0.7%

設問4

二期制であることで、評価資料の準備や通知表作成にかかる事務作業を軽減できており、じっくりと評価することで、正確な評価がしやすい。

No	回 答	人 数	割 合
1	あてはまる	262	63.1%
2	だいたいあてはまる	143	34.5%
3	あまりあてはまらない	8	1.9%
4	あてはまらない	2	0.5%

※ 市内小中学校の教職員対象アンケート調査の結果、すべての設問において「あてはまる」、「だいたいあてはまる」の割合が9割を超えており、授業時間の確保・教員の多忙解消などのメリットが認められます。

ただし、前期と後期の区切りが曖昧であるとの意見や、中学校の進路指導上は三学期制が有効との意見もあり、今後も調査研究が必要です。

・評価指標

市内小中学校の教職員対象アンケート調査の結果

「あてはまる」「だいたいあてはまる」の割合

・評価に係るエビデンス

市内小中学校の教職員対象アンケート調査の結果

「あてはまる」「だいたいあてはまる」の割合 8割以上

● 引き続き二期制を実施し、メリットを生かした教育活動を行います。

・数値目標

なし

■ スクールサポーター配置事業

児童生徒の基礎学力の育成及び向上を目指し、TT(*)指導を始めとする少人数指導による学習支援や障がいのある児童生徒に対する学校生活上の介助や学習活動上の支援等を充実させるため、小中学校へ市雇用のスクールサポーターを配置しました。

(*) TT…… ティーム・ティーチング。担当の教師が進める授業に、教師とスクールサポーター(教職補助員)がチームを組み、児童生徒の習熟度に合わせて教師を助力しつつ行う授業の形態のこと。

スクールサポーター配置数

(延べ人数)

学校名	配置数	学校名	配置数	学校名	配置数
七宝小学校	5人	篠田小学校	7人	七宝中学校	4人
宝小学校	5人	美和東小学校	8人	七宝北中学校	5人
伊福小学校	9人	甚目寺小学校	7人	美和中学校	5人
秋竹小学校	5人	甚目寺南小学校	10人	甚目寺中学校	6人
美和小学校	7人	甚目寺東小学校	10人	甚目寺南中学校	5人
正則小学校	6人	甚目寺西小学校	5人		

(複数校勤務者については各校で人数に計上しています。)

※ きめ細かい少人数指導を実施し、それにより個に応じた指導を進めることが

できました。また、TTの授業を行うことで基礎学力の充実に寄与しました。

・評価指標

なし

・評価に係るエビデンス

なし

● 個別の支援が必要な児童生徒は年々増加しています。

令和5年度も学習支援などを有効に進めていけるよう、スクールサポーターをより一層効果的に活用していきます。

・数値目標

なし

■英語教育の推進

児童生徒の外国語活動と国際理解教育の推進を図るため、外国人（6人）と邦人（6人）の非常勤講師を英語指導助手（ALT）として各小中学校に配置し、次の内容を実施しました。

（1）中学校の英語科授業における英語指導

（2）小学校の英語活動における英語指導

（3）授業で使用する教材の作成

（4）教師に対する現職研修

（5）授業外の特別活動や課外活動など学校行事への参加

（6）研修やミーティングへの参加

・小学校：英語指導助手11人（アメリカ、カナダ、イギリス、日本）

・中学校：英語指導助手6人（アメリカ、カナダ、イギリス、フィリピン）

※ 各小学校では、ALTとのTT指導による外国語活動を円滑に実施することができました。これにより、生きた英語に触れることはもとより、児童の外国語への意欲・関心を高めることができました。また、各中学校でも、ALTと英語教師によるTT指導を行い、生きた英語が響く教室で、生徒は積極的に会話を交わすことができるようになりました。

・評価指標

なし

・評価に係るエビデンス

なし

● 小学校中学年は年間35時間の外国語活動、小学校高学年は年間70時間の外国語科が実施されています。今後も引き続き、ALTなどの人的環境やICTなどの物的環境を整備していく必要があります。

・数値目標

なし

■福祉実践教室

あま市内の全ての小中学校で、福祉実践教室を実施しています。

総合的学習の時間で実施している学校もあれば、行事として実施している学校もありますが、あま市社会福祉協議会が福祉協力校事業の一環として実施しています。

教室の内容は、あま市社会福祉協議会が提供する以下のメニューから学校が選択します。

① 車椅子体験

② 高齢者疑似体験

③ 視覚障害者ガイドヘルプ

（2人1組で一人がアイマスクをし、もう一人が声掛け等で誘導する体験）

④ 手話講座

⑤ 点字体験

⑥ 盲導犬体験

⑦ 要約筆記講座

児童生徒全員に対し一括で実施する教室、各教室に分かれて実施する教室の二つがあり、例えば、車椅子体験や盲導犬体験は体育館で一括実施し、他は教室で実施するなど、学校と打ち合わせをして進めています。

実施にあたっては、あま市社会福祉協議会の職員による実施だけではなく、あま市社会福祉協議会が講師を招いて実施することもあります。

令和4年度実施実績校

学校名	実施日	実施学年	実施内容
七宝小学校			中止
宝小学校	11/2	4～6年生	4年：④ 5年：⑤ 6年：①
伊福小学校	12/7	5年生	5年：①, ③
秋竹小学校	7/15	4～6年生	4年：① 5年：③ 6年：②
美和小学校	7/6	4～6年生	4年：④ 5年：①, ⑥ 6年：②, ③
正則小学校	11/15	4～6年生	4年：⑤ 5年：① 6年：④
篠田小学校	2/24	4～6年生	4年：⑤ 5年：④ 6年：①
美和東小学校	6/15	5年生	5年：①, ④, ⑤
甚目寺小学校	11/9	4年生	4年：①, ②, ③, ④, ⑤ 全体講話
甚目寺南小学校	1/20	5年生	5年：①, ②, ③, ④, ⑤, ⑥
甚目寺東小学校	6/17	5年生	5年：①, ③, ④, ⑤
甚目寺西小学校	12/20	4年生	4年：④
七宝中学校	9/9	1年生	1年：①, ③, ④, ⑤, ⑦ 全体講話
七宝北中学校	6/30	1年生	1年：①, ③, ④, ⑤, ⑦
美和中学校	6/9, 10	1年生	1年：①, ④
甚目寺中学校	12/15	1年生	1年：①, ②, ③, ④, ⑤, ⑦ 全体講話
甚目寺南中学校	11/11	1年生	1年：①, ③, ④, ⑤, ⑦ 全体講話

・中止した学校は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため。

※ 市内小中学校で福祉実践教室を開催することによって、児童・生徒に対して障がい者や福祉への理解、思いやりの心を育むことができました。

・評価指標

福祉実践教室実施小中学校数

福祉実践教室受講児童・生徒数

・評価に係るエビデンス

福祉実践教室実施小中学校数 16校

福祉実践教室受講児童・生徒数 延べ2,634人

● 令和5年度も継続して福祉実践教室を実施します。全ての小中学校で実施することで、人をいたわる心、助け合う心を育み福祉教育を推進します。

・数値目標

福祉実践教室実施小中学校数 17校

■教育支援委員会

児童・生徒・幼児に対し、適切な就学相談や教育的措置を講ずるため教育支援委員会を開催しました。

※ 医師、児童相談所をはじめ、特別支援学校、保育園、学校と情報共有することで、保護者が希望する学校や学級への進学に対して支援することができました。

・評価指標

特別な支援を必要とする児童・生徒・幼児の保護者からの相談件数
 特別な支援を必要とする児童・生徒・幼児の学校見学・体験実施件数
 特別な支援をすることの決定件数

・評価に係るエビデンス

(人)

	相談者数	学校見学・ 体験者数
未就学児 ※延べ数(実数)	106 (66)	101 (65)

(人)

	教育支援委員会	就学先	
		特別支援学校	特別支援学級
未就学児	43	7	36
在校生	300	1	284

● 令和5年度も継続して教育支援委員会を開催します。個に応じた適切な指導を行うために、保護者の就学の意向を把握したうえで、学校見学や体験を行います。また、安全面を第一に考え、対象児童生徒の生活や学習が可能であるかの検討を保護者・学校・教育委員会で行うことで「学びの場の柔軟な見直し」をし、多様な教育ニーズに応じていきます。

・数値目標

なし

■特別支援教育連携協議会・幼保小連絡会

特別支援教育の推進のため、市、教育委員会、小中学校並びに関係機関との連携を継続、強化するため、特別支援教育連携協議会を開催しました。

幼児教育と学校教育の段差につまずき不適応を起こす小1プロブレムの解消のためにも、幼稚園、保育園、こども園と小学校が連携し、子どもについて情報交換をするとともに、互いの教育について理解をする場として幼保小連絡会を開催しました。

※ 特別支援教育連携協議会は、教育委員会・学校・市健康推進課・市社会福祉課・教育相談センターの他、海部教育事務所、海部児童・障害者相談センター、佐織特別支援学校、一宮特別支援学校、名古屋特別支援学校、一宮聾学校、あま市社会福祉協議会、特定非営利活動法人あるいていこう理事長の参加を得ました。

幼保小連絡会は、新型コロナウイルス感染症予防に伴い、少しでも密な状態を避け、かつ会議時間の短縮のため、開会行事を含め、「園長先生と校長先生の懇談会」と「情報交換会」をはじめから別会場で実施しました。

・評価指標

特別支援教育連携協議会参加機関数
 幼保小連絡会参加園数

・評価に係るエビデンス

特別支援教育連携協議会参加機関数 17機関
 幼保小連絡会参加園数 19園

● 令和5年度も継続して特別支援教育連携協議会・幼保小連絡会を開催します。

・数値目標

特別支援教育連携協議会参加機関数 18機関

幼保小連絡会参加園数 19園

■全国大会等出場報奨金

教育、文化及びスポーツの各分野において活躍し、全国大会等に出場等をする市民及び団体に対して、あま市教育・文化・スポーツ活動全国大会等出場報奨金を交付しました。

・出場者

世界選手権 0人

国際大会 0人

全国大会 71人・4団体

(学校教育課：3人・1団体)

甚目寺中1人、美和中2人、甚目寺南中1団体

(生涯学習課：3人)

(スポーツ課：65人・3団体)

・事業費

435,000円

(学校教育課：40,000円)

(生涯学習課：15,000円)

(スポーツ課：380,000円)

※ あま市への愛着心の向上並びに各分野における市民及び団体のより一層の技能向上に寄与するとともに、全国的にあま市のPR活動の一助を担うことができました。

・評価指標

なし

・評価に係るエビデンス

なし

● 教育、文化又はスポーツの各分野において活躍し、全国大会等に出場する市民及び団体に対して、報奨金を交付することにより、市への愛着心の醸成並びに各分野における市民及び団体のより一層の技能向上を奨励します。

・数値目標

なし

■弁当の日

弁当の日を市内全ての小中学校で実施しました。児童生徒が自分の弁当を自ら準備する活動を通して、食への関心を高めたり、食事の用意をする家族への感謝の気持ちをもたせたりすることをねらいとしています。また、そのような活動を行うことで、児童生徒の自立心が培われます。

○主な取組内容と実施日

- ・手作り弁当を持参して各教室で会食会を開く。
- ・保護者の見守る中、一品でも自分で作るようにする。
- ・小中交流会に手作り弁当を持参する。
- ・家庭科で準備し学級ごとに会食する。

学校名	実施日	対象学年
七宝小学校	12月19日(月)	6年生
宝小学校	11月4日(月)	6年生
伊福小学校	12月12日(月)	6年生

秋竹小学校	11月4日(金)	6年生
美和小学校	11月11日(金)	6年生
正則小学校	11月7日(月)	5・6年生
篠田小学校	1月27日(金)	6年生
美和東小学校	12月12日(月)	5・6年生
甚目寺小学校	12月5日(月)	6年生
甚目寺南小学校	12月5日(月)	6年生
甚目寺東小学校	11月28日(月)	6年生
甚目寺西小学校	12月5日(月)	6年生
七宝中学校	11月14日(月)	1年生
七宝北中学校	11月4日(金)	全学年
美和中学校	1月24日(月)	1年生
甚目寺中学校	12月12日(月)	1年生
甚目寺南中学校	12月5日(月)	1年生

※ 児童生徒が献立を考え、弁当を作ることで、食事を作ってくれる家族に対する感謝の気持ちや、食事や栄養について考えることができ、弁当の日の取組を通してねらいに迫ることができたと考えています。

・評価指標

なし

・評価に係るエビデンス

なし

● 今後も取組を継続していくことで、市内全ての児童生徒に弁当の日の活動を通して自立心などを培っていきます。

・数値目標

なし

■Ama Teachers College

教師が日頃いろいろな問題に出会い、その解決に戸惑う場面に突き当たる時、自信をもって立ち向かうことができる力を身につけることをねらいとして講座を開催しました。

○講座

回	開催日	講座名	講師(敬称略)	参加人数
1	7月21日(木)	現場でできる働き方改革	名古屋柳城短期大学附属豊田幼稚園園長 澤田 二三夫	30人
2	7月27日(水)	性の多様性に関する理解	椋山学園大学人間関係学部教授 藤原 直子 先生	32人
3	8月4日(水)	一人一台端末の活用を進めるうえで大切にしたいこと	岐阜聖徳学園大学准教授 芳賀 高洋	32人
4	8月8日(月)	七宝中「しっぴータイム」の実践を通して	七宝中学校の先生方	33人
5	8月9日(火)	学校を動かすスクールリーダーの言葉かけ	岐阜聖徳学園大学准教授 山田 貞二	39人

6	8月26日(金)	イマドキ世代の効果的なかわり方	SKK ヒューマンリソースアドバイザー 藤本 丞	33人
---	----------	-----------------	-----------------------------	-----

○特別研修

回	開催日	講座名	講師(敬称略)	参加人数
1	5月10日(火)	四役の仕事とは?	あま市教育長 松永 裕和	15人
2	7月22日(金)	あま市の教育について	あま市教育長 松永 裕和	60人
G I G A	9月29日(木)	G I G Aスクール構想への充実に向けて※伝達講習①	テイクオーバルコンテンツ事業部長 我妻潤子	17人
	2月9日(木)	G I G Aスクール構想への充実に向けて※伝達講習④	合同会社未来教育デザイン 平井 総一郎	17人

※ 働き方改革やジェンダー教育、市内学校の特色ある取組、G I G Aスクール構想に関する研修など、校内では十分に行うことのできない内容について研修することができました。

- ・評価指標

講座開催回数、延べ参加人数

- ・評価に係るエビデンス

講座開催回数 8回、延べ参加人数199人

● 今後も、教師の資質や力量向上を目指し、教職員が参加したくなるような教育現場最前線の内容の研修会を企画していきます。

- ・数値目標

講座開催回数 8回、延べ参加人数200人

■人権教育(あま市小中学校人権教育研究会)

あま市小中学校人権教育研究会は令和4年度の研究主題を『人権尊重の確かな認識を培い、温かい人間関係をはぐくむ教育 ～仲間とともに人権課題に向き合い、自他を尊重する実践的態度を養うために～』として研究を進め、「自己実現を追求する活動を通して、人権尊重の教育」を推進しました。

- ・会長 正則小学校長

- ・事業費 799,910円(市補助金)

- ・主な活動内容

(1) 海部地区人権教育講演会の実施

8月5日(金) 甚目寺公民館

(2) 全国人権・同和教育研究大会等参加

(3) 研究紀要の作成

※ 児童生徒が実践的行動力を身に付けるための研究を進めた結果、様々な活動を通じて、より良い人間関係の中で、互いの良さを認め合い、互いの存在の大切さにも気付けるようになりました。また、取組の継続によって実践的な行動力も着実に育まれてきました。

- ・評価指標

講演会の開催回数

- ・評価に係るエビデンス

講演会の開催回数 1回

● 令和5年度も「部落差別の解消の推進に関する法律」(H28.12施行)の趣旨を踏まえ、教育及び啓発を行っていきます。

- ・ 数値目標
講習会の開催回数 1回

■キッズ防犯体験教室事業

- ・ 事業費 475,200円（全小学校合計）
- ・ 実施校 12小学校（3年生のみ）

自立心が芽生え、友達と出かける行動範囲も広がってくる小学校3年生の児童を対象に、自身に危険が迫った時に自分の身を守る方法を練習する防犯体験教室を実施しました。紙芝居を用いた分かりやすい説明や実際の状況を想定した訓練体験により、防犯意識を向上させました。

学校名	実施日	学校名	実施日
七宝小学校	1月13日（金）	篠田小学校	9月29日（木）
宝小学校	10月19日（水）	美和東小学校	10月31日（月）
伊福小学校	11月17日（木）	甚目寺小学校	11月10日（木）
秋竹小学校	12月20日（火）	甚目寺南小学校	1月20日（金）
美和小学校	12月15日（木）	甚目寺東小学校	10月21日（金）
正則小学校	12月6日（火）	甚目寺西小学校	10月7日（金）

※ 児童が不審者から身を守るための方法を身に付けることができ、児童一人ひとりに「自分の身は自分で守る」という危険回避の意識を培うことができました。

- ・ 評価指標
キッズ防犯体験教室実施小学校数
- ・ 評価に係るエビデンス
契約書 実施小学校数 12校
- 令和5年度も見守り隊やPTAに参加していただき、地域との連携を図っていきます。
- ・ 数値目標
キッズ防犯体験教室実施小学校数 12校

■通学路交通安全プログラム

「あま市通学路交通安全プログラム」は、平成25年度に、文部科学省、国土交通省、警察庁が連名で通知した「通学路の交通安全の確保に向けた着実かつ効果的な取組の推進について」に基づき策定した通学路の交通安全対策についての基本的方針を示すものです。

取組の原則としては、市内12小学校を七宝地区、美和地区、甚目寺地区の3グループに分け、毎年度1グループずつ合同点検を実施しています。

合同点検は、市教育委員会、道路管理者、警察署が合同で現地を確認します。

合同点検の結果から明らかになった対策必要箇所について、箇所ごとに歩道整備、グリーンベルトのペイント、防護柵設置等のハード対策、交通規制や安全教育等のソフト対策等、具体的な実施メニューを検討し、道路管理者、警察署に要望し順次実施しています。

※ 各組織と連携し、迅速に七宝地区23箇所の危険箇所をリストアップすることができました。また、令和4年度末までに七宝地区12箇所の危険箇所について対策を行うことができました。残りの危険箇所についても、令和4年度中に国庫補助金を申請し、令和5年度以降に補助金を活用しながら対応できるようにしました。

- ・評価指標
合同点検の結果による危険箇所のうち、対策済みの危険箇所の割合
- ・評価に係るエビデンス
対策済み危険箇所 52.1% (23箇所中12箇所)
- 令和5年度は美和地区が合同点検箇所となりますが、令和4年度の対策未実施箇所の進捗を管理しつつ、他地区からの危険箇所も意見が上がり次第対応していきます。
- ・数値目標
対策未実施箇所 0件

■教育相談センター事業

教育相談センターは、「学校教育支援」、「教育相談活動」、「不登校などの指導及び支援」を三つの柱として事業を実施しました。

○学校教育支援事業

子ども同士の関わりを大切にした学級経営や授業の改善を進めるため、また、各学校の教科指導や児童生徒の正しい理解を図るため、校内の現職教育の講師・助言者を外部から招く「教育アドバイザー派遣事業」等を実施しました。

- ・教育アドバイザー派遣 3件

○教育相談事業

学校生活や教育活動上の悩み、いじめ、不登校問題等の「相談活動」や特別支援教育への援助、学校が行う生徒指導等への援助、指導及び研修等の学校支援を行いました。

校長・教頭・学級担任・生徒指導主任・養護教諭など学校関係職員との話し合いの場をもち、市教育委員会・学校と連携を図りました。

- 【職員】
- ・教育相談支援員 3人
 - ・心理相談員 3人
 - ・学校支援アドバイザー 1人
 - ・親と子の相談員 1人

【教育・心理 相談面接件数 (巡回指導含む。)]

	小学校	中学校	合計
保護者	598件	348件	946件
児童生徒	1,282件	381件	1,663件
教職員	2,301件	1,250件	3,551件
教室訪問	2,204件	66件	2,270件
合計	6,385件	2,045件	8,430件

○適応指導教室事業

心理的・情緒的な要因により、不登校の状態にある児童生徒を対象として、適正な相談・助言及び生徒指導・学習指導を行い、自立及び学校生活への自発的復帰を支援しました。また、不登校対策として「子どもの自立を支える親の会」を実施しました。

- 【職員】
- ・専任指導員 1人
 - ・指導員 5人
 - ・派遣指導員 2人

- 【通室者】
- ・令和4年度：適応指導教室の登録者数 56人
 - 令和3年度よりの継続 32人
 - 令和4年度新規登録者 14人
 - 令和4年度その他通室者 10人

- ・適応指導時間数 延べ1,740時間
- ・令和4年度：適応指導教室の登録者の歩み

学校復帰者	11人
中学校卒業者	13人（進学者 13人）
・子どもの自立を支える親の会	年間3回

○教育相談センター運営協議会

教育相談センターの運営のため、教育長、教育部次長、教育相談センター長が参加し、運営方針の決定等を行いました。

※ 学校教育支援、教育相談、適応指導教室など学校教育活動の支援体制を充実させる事業をすることができました。中でも適応指導教室では、児童生徒に対し適正な指導や臨床心理の専門員による心理支援相談及び保護者に対しての面接相談を実施することができました。

・評価指標

なし

・評価に係るエビデンス

なし

● 令和5年度も、継続して「子どもの自立を支える親の会」を開催していきます。不登校児童生徒やその親に対して不安を和らげ、周りとつながれるよう、一人ひとりの状況を丁寧に把握し、支援していきます。また、新たな一人を生み出さなためにも市教育委員会や学校と連携を図りながら児童生徒支援を進めていきます。

・数値目標

なし

■学校教育課主催の会議

○学校関係者会議

7/6（水）15：00～

学校関係者会議（あま市の保護司・少年補導員との会）すみれの里

1/12（木）14：00～

学校関係者会議（あま市の保護司・少年補導員との会）すみれの里

○民生児童委員連絡会

① 7/12（火）14：00～

七宝小、伊福小、七宝中 3校合同開催

② 8/3（水）10：00～

宝小、秋竹小、七宝北中 3校合同開催

③ 7/6（水）10：00～

美和小、正則小、篠田小、美東小 4校合同開催及び美和中と同一日同施設別会場開催

7/6（水）9：00～

美和中 美和地区小学校と同一日同一施設別会場開催

④ 7/7（木）14：00～

甚小

⑤ 6/3（金）10：00～

甚南小

⑥ 7/6（火）10：00～

甚東小

⑦ 7/8（金）10：00～

甚西小

⑧ 6/22（水）11：00～

甚中

⑨ 8/4（木）10：00～

甚南中

○あま市いじめ問題対策連絡協議会

10/7（金）14:00～ 美和公民館

○あま市いじめ・不登校対策協議会

8/2（火）14:00～ アートビレッジ

2/17（金）14:00～ 甚目寺公民館

※ 学校関係者連絡会については、あま市の保護司、少年補導委員、津島警察署、児童相談所、各中学校と問題行動やネグレクト、児童虐待等に関する情報交換の場を設定することで、中学校が関係機関と連携して対応しやすくなったり、未然防止の対策を講じたりすることにつながっています。

民生児童委員連絡会については、学校から各地域における見守り活動や個別の訪問活動を依頼することにより、学校だけでは対応が困難な家庭に対する支援をお願いしています。年1回ですが、民生児童委員と学校やあま市の関係者が連携することは貴重な情報交換の場となっています。

・評価指標

なし

・評価に係るエビデンス

なし

● 令和5年度も、継続して学校関係者連絡会を開催します。また、全体会で得られた情報をもとに、中学校区ごとによる学校訪問の場を設定することで、より一層生徒一人一人に寄り添った支援や対策を講じていきます。

民生児童委員連絡会については、令和5年度も継続して開催し、学校との連携強化を図っていきます。

・数値目標

なし

・評価に係るエビデンス

なし

■学校支援会議

平成24年度から、「あま市学校支援会議」を開始しました。

この会議は、「いじめ」、「不登校」、「問題行動（暴力行為などの触法行為）」、「自殺及び自殺未遂」、「児童生徒虐待」など緊急性を要する問題が学校で発生した際、校長が家庭・地域・外部の専門機関の力を借りて問題を解決したいと判断した時に、「あま市学校支援会議（通称 緊急ケース会議）」を校長は市教育委員会に要請するもので、学校の抱える問題に対し、次のとおりきめ細やかに対応する仕組みをつくることをねらいとしています。

令和4年度は、甚目寺南中学校（5月）・甚目寺東小学校（10月）から要請があり学校支援会議を行いました。

① 家庭への働きかけや保護者に対する指導

② 学校以外の専門機関（病院・警察）・学校関係者（民生児童委員・主任児童委員・保護司・区長）との連携や協力要請

③ 緊急事項に対する学校対応の方針づくり

この会議をあま市における学校関係者会議として位置づけています。

・「緊急ケース会議」のメンバー

緊急性を要する問題が起きた学校の教職員（校長・教頭・教務・校務・養護教諭・スクールカウンセラーなど校長が参加した方が良いと考える教職員）

・校長の要請に応じて教育長が招集をかけるメンバー

① あま市教育委員会（指導主事など）

② あま市教育相談センター（臨床心理士・教育相談員など）

・会議の必要に応じて招集するメンバー

③ 海部児童・障害者相談センター

- ④ 警察関係者
- ⑤ 学校関係者（民生児童委員・主任児童委員・保護司）
- ⑥ 学校医・学校歯科医・あま市民病院
- ⑦ あま市役所関係各課

※ 緊急を要する問題が発生した場合に、教育委員会・学校・地域社会が一体となって迅速に対応できる体制を確立しています。甚目寺南中学校においては、警察（児童相談所送致）事案についての対応について、甚目寺東小学校においては、個別の支援を要する児童と親の無理解に対しての対応について、連携機関と情報交換を行い、各機関の対応可能な内容の確認と、それぞれの受け持ちについて確認することで、学校を支援しました。

- ・評価指標

なし

- ・評価に係るエビデンス

なし

● 今後も、必要に応じて「あま市学校支援会議」を開催することで、学校と家庭・地域などが連携・協働して問題解決に向けて取り組んでいきます。

- ・数値目標

なし

■学校運営協議会（コミュニティスクール）

あま市では、平成29年度に七宝小学校で、平成30年度は、宝、伊福、秋竹、正則、甚目寺小学校で学校運営協議会を設置しました。令和元年度からは、すべての小中学校に設置して、保護者、地域住民と目標を共有し、地域と一体となって児童生徒を育む地域に密着した学校づくりを推進しています。

○主な取組内容

- ・読み聞かせボランティアによる児童への読み聞かせ
- ・見守り隊等による登下校の見守り活動
- ・生活科の授業における野菜作りや昔の遊び体験の支援
- ・総合的な学習の授業における稲作や地域の歴史や伝統の学習の支援
- ・敷地内の除草、修繕等の環境整備の支援

※ 学校と保護者、地域住民が連携・協働して、子どもたちを育む学校づくりを進めることができました。

- ・評価指標

なし

- ・評価に係るエビデンス

なし

● 今後も、コミュニティ・スクールの核となる学校運営協議会において、学校が地域住民等と目標を共有し、地域と一体となって児童生徒を育む地域に密着した学校づくりを推進していきます。

- ・数値目標

なし

■教育人材バンク「学びの道の案内人」と出前授業

平成24年度に教育人材バンクを制度化しました。教育人材バンクは、あま市における学校教育の充実を図ると共に、文化・スポーツ等の各分野において、知識・技能及び指導力を有する人材を登録し、学校が必要とする人材に関する情報を提供するために設置しました。教育人材バンクに登録する者は、講師及び学校支援ボランティアとし、学校の依頼に応じて次の活動を行います。

- ・講師は登録された分野に係る指導、講座の実施等
- ・学校支援ボランティアは登録された分野や学校行事等学校教育活動に係る支援

令和4年度登録人数 25人

①大学生学校支援ボランティア

教員を目指す大学生が各小中学校において、子どもたちの学校生活の支援ボランティアを行いながら、学校現場のノウハウを学ぶことができる。

②教育アドバイザー

各学校の教科指導、児童・生徒の指導等の教育活動について、研究、研修を進める場合に講師、助言者として活用する。

(1)教科指導研究、いじめ・不登校対応、生徒指導関係、学校行事、特別活動、総合学習、英語活動など

(2)「出前授業」、「飛び込み授業」など児童生徒への直接指導

防災教育、昔の遊び、折り紙、地域の歴史などいろいろなことを児童生徒が学ぶ中で、教師以外の指導ができる講師を地域から招く。

③教育相談センター ハーティフレンド

教育相談センターの適応指導教室において、主に適応指導教室利用中の不登校ぎみの児童生徒に対して行われる。心理学的な知識をもった大学生又は大学院生である「ハーティフレンド」により、児童生徒の心や学びの支援を充実させることを目的とする。

※ 前年度同様に外部の教育人材を活用した活動を行うことができました。

・評価指標

大学生学生支援ボランティア人数

教育アドバイザー派遣件数

ハーティフレンド人数

・評価に係るエビデンス

大学生学生支援ボランティア人数 17人

教育アドバイザー派遣件数 3件

ハーティフレンド人数 5人

● 今後は、尚一層、人材バンクの人員を増やし、学校が必要とする人材に関する情報を提供していきます。また、「あま市ものしりジュニア検定」をはじめとしたふるさと学習を通して、郷土愛を育てる教育活動を推進していきます。

・数値目標

大学生学生支援ボランティア人数 17人

教育アドバイザー派遣件数 3件

ハーティフレンド人数 5人

■キャリアスクールプロジェクト（県委託事業）

○キャリアスクールプロジェクト（小学校）

愛知県の委託事業として、地域の方を招いて講話や体験活動等を実施することで、児童が働くことや人の生き方について自らの考えを深めることができました。

・事業費 69,938円（うち県委託金 69,938円）

・実施校 甚目寺小学校

・実施学年 全学年

・事業内容 ゲストティーチャーを招いたオンライントーク

地域の方を招いた職業講話

農業の体験活動

体験活動等についての感想の発表会

※ 様々な社会人を国内外から講師として迎え、多様な生き方があることを知り、自分の生き方を考える会を開催しました。また、地域の協力を得て、グループに分かれて職業講話や体験活動により学んだことを発表しました。この事業を通して、将来の職業について興味や意欲を持つことができました。

- ・評価指標
なし
- ・評価に係るエビデンス
なし
- 令和5年度は該当事業なし
- ・数値目標
なし

○キャリアスクールプロジェクト「つなぐ」(全中学校)

愛知県の委託事業として、大人へと心身ともに大きく成長する思春期に、社会の成り立ちについての理解や、働くことの意義、責任感、あいさつ、言葉づかいの大切さなど、社会性をしっかりと身につけてもらうため、全中学校の2年生を対象に職場体験学習を実施しました。ただし、一部の中学校では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、生徒が事業所へ出向いて直接体験をする形態は中止となりました。

1年生を対象に、様々な職業に対する知識や、職場体験学習に対する理解と意欲を高めるためのガイダンス事業を行いました。また、3年生を対象に、講師の講話を聞いたり、将来の生き方について考えを発表したりするなど、働くことや学ぶことに対する意欲を向上させるためのプレゼンテーション事業を行いました。

- ・事業費 526,738円(うち県委託金 165,000円)

学校名	職場体験学習 参加生徒数 (2年生)	実施日	受 入 事業所数
七宝中学校	125名	6月22日	2か所
七宝北中学校	0名	中止	0か所
美和中学校	237名	10月26日・27日	61か所
甚目寺中学校	233名	11月1日・2日・4日	62か所
甚目寺南中学校	150名	11月8日～10日	39か所

※ 自立心と社会性が身につき、社会のマナーやルール、あいさつや言葉づかいの大切さなど社会性を学ぶことができました。また、今後の進路について、仕事の適性等将来を見据えた考えをもつことができました。

- ・評価指標
なし
- ・評価に係るエビデンス
なし
- 令和5年度も、学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感できるキャリア教育を推進していきます。
全中学校の2年生を対象に職場体験学習を実施します。
- ・数値目標
職場体験学習実施校 5校

■特色ある学校づくり推進事業

- ・事業費 4,073,028円(全小中学校合計)
- ・実施校 全小中学校
この事業は、各学校で話し合われた夢を実現し、魅力ある学校づくりを目指し、従来の市内一斉横並びの学校づくりではなく「やれる学校から やれることから」を始める事業となっています。

9月に事業の進み具合のヒアリングを学校で行い、10月には翌年度の事業についてプレゼンテーションを実施する審査会を開催しました。大学より有識者を招き、事業の方向性についてのアドバイスをいただきました。審査会の結果に基づき、予算案の作成を進めました。

・各校の令和4年度事業名

学校名	事業名
七宝小学校	(1)豊かな心の育成 (2)学校・家庭・地域が連携・協働し「つながる」学校づくり
宝小学校	(1)郷土を愛し、理解する活動（七宝焼づくりを通して） (2)ふれあい・学び合いを生かした活動
伊福小学校	(1)豊かな心を育む活動事業 (2)いつでも だれでも どこでも どの子もICT活用事業 (3)教師力（経営力・授業力・指導力）UP研修
秋竹小学校	(1)ふれあい・学び合いを生かした学習指導 (2)豊かな心とたくましい体を育む教育活動 (3)ふれあいを大切にしたい体験活動
美和小学校	(1)『豊かに考える児童の育成』事業 (2)『夢を広げる児童の育成』事業 (3)『地域を愛する児童の育成』事業
正則小学校	(1)地域との連携 (2)豊かな心の醸成と健康づくり (3)指導力向上
篠田小学校	(1)授業力向上授業 (2)豊かで思いやりのある子の育成 (3)命を学ぶ
美和東小学校	(1)つなぐ つながる 東っ子 ―新たな伝統づくりに挑む―
甚目寺小学校	(1)ユネスコスクール推進事業①甚小タイム活動 (2)ユネスコスクール推進事業②人とつながる活動
甚目寺南小学校	(1)甚南小仲間づくり事業 (2)自他を大切にしたい心の育成事業 (3)授業力向上事業 (4)母校や地域に愛着と誇りをもつ事業
甚目寺東小学校	(1)人権教育推進事業 (2)専門的な知識・技術をもつ外部人材の教育力活用事業 (3)豊かな人間関係を築く、異学年交流ふれ合い活動
甚目寺西小学校	(1)体験と交流を通して豊かな心を育む (2)教師力アッププロジェクト
七宝中学校	(1)自己を見つめ、他人を思いやる心の育成 (2)自他の良さを認め合い、主体的に学び続ける生徒の育成 (3)基礎学力を向上し、分かる楽しさを実感する生徒の育成
七宝北中学校	(1)自信や自覚をもって中学校生活を送ることができる教育活動 (2)地域の教育力を活用し、社会や集団生活の中でよりよく生きていく力を育てる活動
美和中学校	(1)指導力向上 (2)豊かな人間性の育成
甚目寺中学校	(1)実社会へ出るための人間力づくり活動

甚目寺南中学校	(1)教師の資質向上を図り、学校の教育力を高める事業 (2)地域と育むモラル向上に関する事業 (3)夢を持ち自己実現に向けて努力できる生徒の育成を目指す啓発活動
---------	--

※ 11年目を迎え、各学校がそれぞれの特色を打ち出し、児童生徒の心に響く活動に取り組むことができるよう、学校の発想・裁量・自主性を醸成する事業として定着しつつあり、学校の主体的な創意工夫による特色づくりを支援することができました。

・評価指標

なし

・評価に係るエビデンス

なし

● 今後も審査会を実施し、限られた市の予算を「より熱い思いの事業」に配分します。学校と市教育委員会の思いの共有化を図り、魅力ある学校づくりを目指し、新たな教育実践を推進していく話し合いの場として今後も進めていきます。

・数値目標

なし

■あま市小中学校のあり方についての検討

○七宝北中学校適正規模化に向けた通学制度

あま市立小中学校の適正配置及び規模の適正化に関する提言書（平成23年12月提言）の趣旨にのっとり、七宝北中学校地区委員会の意見書（平成31年2月）をもとに教育委員会が平成31年3月に決定し、あま市小中学校通学区域に関する規則（平成22年教委規則第8号）に規定する七宝北中学校通学区域外に住所を有する者で、七宝北中学校の校風や魅力等に賛同し、七宝北中学校に就学することを希望する者が同校に就学するために七宝北中学校適正規模化に向けた通学制度を実施しました。

・七宝北中学校適正規模化に向けた通学制度

令和5年度入学者

申請者数 6人

認定者数 6人

内訳 七宝小学校区 0人

篠田小学校区 0人

美和東小学校区 6人

取下者数 0人

許可後私立中学就学 0人

七宝北中学校就学 6人

※ 七宝北中学校適正規模化に向けた通学制度は、令和2年度4月新入学生分から開始し、令和5年度新入学生分で4年間実施しました。

4年間の実施により、累計26人の生徒が七宝北中学校へ就学しました。

・評価指標

なし

・評価に係るエビデンス

なし

● 引き続き、七宝北中学校の適正規模化に向けて制度を実施します。

・数値目標

なし

○あま市小中学校あり方検討委員会

あま市立小中学校の将来を見据えた学校のあり方に係る基本の方針及び方策を教育委員会が策定するにあたり、学校関係者及び市民等から広く意見を聴取するた

め、あま市小中学校あり方検討委員会を開催しました。

第3回 令和4年6月28日(火)

- (1) 委員の紹介(異動による)
- (2) 今回ご意見を頂く課題の紹介
- (3) 前回までのご意見まとめについて
- (4) 小中一貫校・小規模校と大規模校の賛否及び期待すること懸念すること課題
- (5) 施設の共有化・複合化の賛否及び期待すること懸念すること課題

第4回 令和5年3月22日(水)

- (1) 今回ご意見を頂く課題の紹介
- (2) 前回までのご意見まとめについて
- (3) これからの学校・学校と学校・学校と地域のあり方の目指す姿、期待すること、懸念すること、課題
 - ①学校と家庭と地域のあり方
 - ②学校間交流のあり方
 - ③特別支援教育における学校のあり方
- (4) ICT利活用における学校のあり方の目指す姿、期待すること、懸念すること、課題
- (5) 教職員の働く場としての学校の目指す姿、期待すること、懸念すること課題
 - ①教職員の働き方改革
 - ②部活動のアウトソーシング

※ 令和4年度は、あま市小中学校あり方検討委員会を2回開催し、具体的なテーマに沿った多くのご意見を聴取しました。2回の開催により、テーマごとにそれぞれの立場から賛否、期待すること、懸念すること、課題についての意見が出されました。

・評価指標

会議開催回数

・評価に係るエビデンス

会議を2回開催

● 令和5年度は、あま市小中学校あり方検討委員会を2回開催する予定です。

今後の学校のあり方に関する新たな基本的な方針を教育委員会が策定するにあたり、外部有識者等が参加するあま市小中学校あり方検討委員会で意見を聴取した内容をもとに、あま市小中学校あり方検討委員会が報告書を取りまとめる予定です。

あま市小中学校あり方検討委員会からの報告書を教育委員会に報告する予定です。報告書を受け、教育委員会にて今後の学校のあり方に関する新たな基本的な方針を決定する予定です。

教育委員会にて基本的な方針を決定した後、(仮称)あま市小中学校あり方課題別検討委員会を1回開催する予定です。

・数値目標

あま市小中学校あり方検討委員会を2回開催する。

(仮称)あま市小中学校あり方課題別検討委員会を1回開催する。

■小中学校施設整備事業

安全安心で快適な教育環境を整えるために次の整備工事を行いました。

○美和中学校屋内運動場改築工事

美和中学校屋内運動場の改築工事を令和4年度及び5年度の2ヵ年かけ行っています。

・事業内容 屋内運動場の改築工事

・事業費 682,000,000円

(内 令和4年度分 227,440,000円)

○7小中学校空調機器更新工事(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)

学校における感染症対策のため、交付金を活用し、老朽化によって動かなくなった空調機器を更新することにより、職員室等の換気を促進し、児童・生徒及び教職員等の教育環境の整備を図りました。

- ・対象校 宝小、美和小、正則小、篠田小、甚目寺西小、七宝中、甚目寺南中
- ・事業費 13,403,500円

○12小中学校体育館トイレ改修工事(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)

既存の和式便器では、今の児童・生徒が不慣れであり、排泄物が飛び散るなど、不衛生であるため、交付金を活用し、小中学校体育館のうちトイレ未改修校について、トイレの洋式化及び床の乾式化を行いました。

- ・対象校 七宝小、宝小、伊福小、秋竹小、正則小、美和東小、甚目寺南小、甚目寺東小、甚目寺西小、七宝北中、甚目寺中、甚目寺南中
- ・事業費 178,103,200円
(内 20,270,000円 令和5年度へ繰越)

○美和小学校屋上防水改修工事

耐用年数を超え、雨漏りが常態的に発生していたため、屋上の防水改修工事をしました。

- ・事業内容 防水シート設置工事、空調取替工事
- ・事業費 43,450,000円

○甚目寺南中学校障がい児等対策施設整備工事

肢体不自由生徒の入学に伴い、中央階段1階から4階まで手摺の設置及び1階多目的トイレの改修工事を行いました。

- ・事業内容 手摺の設置、多目的トイレの改修工事
- ・事業費 4,304,300円

※ この改修工事を実施することにより、児童生徒が安全安心に使用できる施設の整備を進めることができました。

- ・評価指標
なし

- ・評価に係るエビデンス
なし

- 安全安心で快適な教育環境を整えるため、今後も施設の整備に努めていきます。

- ・数値目標
なし

(2) 生涯学習課

■生涯学習推進本部事業

○事業報告

本部会議の開催

第1回 令和4年6月28日(火)

【議題】本会議での協議事項、実施事務及び今後のスケジュールについて

第2回 令和4年8月24日(水)

【議題】評価シートの作成に係る事務の流れ及び完了までのスケジュールについて

第3回 令和4年11月8日(火)

【議題】評価シート素案の最終確認及び今後のスケジュールについて

随時 作業部会による評価シート素案の確認

令和5年1月14日(土)

生涯学習推進計画策定に携わった外部有識者による評価シートの審査・講評

令和5年2月13日(月)

外部有識者による最終確認を経て評価シートの完成

令和5年2月21日(火)

社会教育審議会への報告

※ 生涯学習の推進を図るとともに、前年度に策定しました生涯学習推進計画に則した生涯学習事業の進捗確認及び事業評価を実施するため生涯学習推進本部を設置し、生涯学習事業の進捗確認及び事業評価の指標としての評価シートを作成いたしました。

・評価指標

なし

・評価に係るエビデンス

なし

● 今回作成した評価シートを基に評価項目の見直しを行い、生涯学習推進計画の進捗状況の管理を適切に行います。

・数値目標

なし

■公民館事業

市民のニーズにあった学習の機会を提供し、自発的な学習意欲を喚起するとともに、知識や趣味を広げられる機会を提供しました。

○社会教育講座

・美和公民館

講座名	開催日	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
異国のお菓子作り	5月2日 (月) 午前	一般	5回	24名	24名	25名
女性の人権	5月9日 (月) 午前					
エコな体の使い方	5月16日 (月) 午前					
LGBTQを考える	5月23日 (月) 午前					
身近なSDGsとは	5月30日 (月) 午前					

○公民館講座

・七宝公民館

前期講座

講座名	開催日	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
伝統芸能体験講座	6月10日・24日 7月8日・22日 各金曜日午前	一般	4回	15名	11名	11名
女性のための初めてのクラシックギター講座	5月25日 6月8日・22日 7月6日・20日 各水曜日午後	女性	5回	10名	10名	21名
バランスボールでココロとカラダのメンテナンス講座（一般向け）	5月26日 6月9日・23日 7月7日・21日 各木曜日午前	一般	5回	15名	15名	20名
バランスボールでココロとカラダのメンテナンス講座（ママ向け）	6月2日・16日・30日 7月14日・28日 各木曜日午前	一般	5回	15名	14名	14名
おやこでたのしく音楽あそび～リトミックをプチ体験～	5月18日 6月8日 7月6日 各水曜日午前	2歳から3歳児までの子とその保護者	3回	10組	6組 12名	6組 12名
夏休み書道教室	7月23日・30日 各土曜日午後	小学生	2回	15名	11名	11名
楽しく学ぶ英会話レッスン	7月26日 8月2日・16日・23日・30日 各火曜日午前	中学生以上	5回	15名	9名	9名

※講師都合により6月24日の「伝統芸能体験講座」は中止となりました。

後期講座

講座名	開催日	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
ボールペン・筆ペンで行書を書こう講座	10月19日 11月16日・30日 12月7日・21日 各水曜日午前	一般	5回	15名	15名	31名
産後ケア&ベビーマッサージ講座	10月20日・27日 11月10日・17日・24日 12月1日・8日・15日 各木曜日午前	2歳未満児とその保護者	8回	8組	8組 16名	12組 24名

スマートフォン体験講座①入門編②基本編	10月20日 (木) ①午前②午後	一般	1回	15名	①9名 ②14名	①10名 ②15名
初めてのZoom体験講座	11月9日 (水) ①午前②午後	一般	1回	10名	①- ②10名	①3名 ②10名

※初めてのZoom体験講座の午前の部は、受講者不足のため、中止となりました。

・美和公民館
前期講座

講座名	開催日	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
楽しく学ぶ！認知症予防講座	5月27日 6月3日・10日 各金曜日午前	一般	3回	24名	23名	27名
パンづくり講座	6月6日・13日・ 20日 各月曜日午前	一般	3回	24名	19名	19名
ノルディックウォーキング講座	6月18日 7月16日 各土曜日午前	一般	2回	16名	16名	23名
楽しく学ぶ英会話レッスン	7月27日 8月3日・17日・ 24日・31日 各水曜日午前	中学生 以上	5回	15名	14名	15名

後期講座

講座名	開催日	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
季節の養生薬膳講座	10月12日・26日 11月9日・30日 各水曜日午前	一般	4回	16名	15名	27名
認知症予防のための脳トレ講座～クラシックギターをしよう～	10月12日・26日 11月16日・30日 12月14日 各水曜日午後	45歳 以上	5回	10名	10名	22名
国際理解教育講座	ミャンマー	11月11日 (金) 午前	一般	3回	16名	16名
	フランス	11月18日 (金) 午前				
	韓国	11月25日 (金) 午前				
パンとクリスマスケーキづくり講座	12月5日・12日 19日 各月曜日午前	一般	3回	24名	24名	30名
子ども食育講座	12月27日 (火) 午前	小学 4～6 年生	1回	10名	10名	13名
手ぶらで水彩画講座	1月25日、 2月8日・22日、 3月8日 各水曜日午後	一般	4回	12名	11名	37名
寄せ植え盆栽講座	3月12日 (日) 午後	一般	1回	16名	15名	24名

・ 甚目寺公民館
前期講座

講座名	開催日	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
初めてのパソコン講座	5月24日・31日 6月7日・14日・ 21日・28日 各火曜日午後	一般	6回	10名	10名	15名
マインドフルネス瞑想・ヨガ講座	6月22日・29日 7月6日・13日・ 20日・27日 各水曜日午後	一般	6回	20名	20名	29名
身近な物で作る工作とゲーム講座	5月15日・22日 6月5日・19日 各日曜日午前	小学1 ～4年 生の親 子	4回	15組	7組 14名	7組 14名
簡単おもてなし洋食講座	5月28日(土) 夜間	一般	1回	20名	9名	14名
フラワーアレンジメント講座	6月8日(水) 夜間	一般	1回	20名	13名	18名
初めてのスマホ使い方講座 第1回	5月12日(木) 午後	一般	1回	20名	20名	23名
初めてのスマホ使い方講座 第2回	6月14日(火) 午前	一般	1回	20名	13名	14名
新しい生活様式 タブレット活用講座	6月8日(水) 午後	一般	1回	10名	10名	10名
楽しく学ぶ英会話レッスン	7月21日・28日 8月4日・18日・ 25日 各木曜日午前	中学生 以上	5回	15名	8名	8名

後期講座

講座名	開催日	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
パソコン講座 初めてのパソコン	10月11日・18日 ・25日 11月8日・15日・ 22日 各火曜日午後	一般	6回	10名	9名	9名
パソコン講座 パソコンを楽しむ	11月10日・17日 ・24日 12月1日・8日・ 15日 各木曜日午後	一般	6回	10名	10名	17名

はちみつテイスティング講座	11月12日(土) 午前	一般	1回	15名	14名	15名
簡単おもてなし洋食講座	10月22日(土) 夜間	一般	1回	18名	8名	14名
手作り絵本講座	11月19日・26日 12月10日・17日 ・24日 各土曜日午前	一般	5回	10名	7名	11名
DIY講座	10月23日・30日 11月13日・20日 ・27日 各日曜日午前	一般	5回	20名	11名	11名

○親子映画会

事業名	内容	開催日	会場	入場者数
親子映画会	コロナ禍により中止			

○図書室・読書室事業

事業名	内容	回数	参加者数	会場
この本だいすきの会のよみきかせ	幼児・児童向け絵本のよみきかせ	39回	78名	甚目寺公民館 和風会議室ほか
おどろぐばこのかみしばい	幼児・児童向けかみしばい	12回	26名	甚目寺公民館 和風会議室ほか
もこもこのおはなし会	親子で楽しむ絵本とわらべうた	12回	66名	甚目寺公民館 郷土資料室ほか
		10回	32名	七宝公民館 和室

○図書室・読書室利用者数・年間貸出冊数(点数)

図書室・読書室	利用者数(前年)	年間貸出点数(前年)	蔵書点数
七宝公民館読書室	796名(577名)	2,809点(1,986点)	13,112点
甚目寺公民館図書室	11,338名(7,567名)	31,144点(20,896点)	38,708点

○ブックスタート事業

はじめての本との出会いとして、また絵本を通じて親子のふれあいの時間を持つことの大切さを実感していただくため、読み聞かせを実践しました。7月までは「ぎゅう りゅう りゅう」を配布、8月より「ごぶごぶ ごぼごぼ」を配布しました。

事業名	回数	実施者数	会場
ブックスタート事業 ※新型コロナウイルスワクチン接種のため、全て甚目寺保健センターにて実施	5回	84名	甚目寺保健センター (七宝地区対象者)
	8回	159名	甚目寺保健センター (美和地区対象者)
	19回	370名	甚目寺保健センター (甚目寺地区対象者)

・ブックスタートボランティア養成講座「赤ちゃんに絵本の時を」

開催日時	講師	参加者数	会場
11月22日(火) 午後2時～午後3時30分 11月30日(水) 午後1時30分～午後3時	美和図書館職員 奈良 万紀子氏	4名	甚目寺公民館 視聴覚室、 甚目寺保健センター

○パソコン・スマホ・タブレット相談室

パソコン・スマホ・タブレット操作で悩みを抱えている方への支援策として、パソコン・スマホ・タブレット相談室を開催しました。

開催日	回数	参加者数	会場
4月6日(水)・16日(土) 5月11日(水)・21日(土) 6月1日(水)・18日(土) 7月6日(水)・16日(土) 8月3日(水)・20日(土) 9月7日(水)・17日(土) 10月5日(水)・15日(土) 11月2日(水)・19日(土) 12月7日(水)・17日(土) 1月4日(水)・21日(土) 2月1日(水)・18日(土) 3月1日(水)・18日(土) 午前10時～11時30分	24回 (4名のボランティア協力による)	91名	七宝公民館 読書室
4月20日(水)、5月19日(木) 6月24日(金)、7月21日(木) 8月26日(金)、9月21日(水) 10月27日(木)、12月16日(金) 1月18日(水)、2月16日(木) 3月14日(火) 午後2時～4時	11回 (甚目寺パソコンクラブへ委託)	48名	甚目寺公民館 児童室
5月6日(金)、6月15日(水) 7月15日(金)、8月2日(火) 9月13日(火)、10月19日(水) 11月11日(金) 1月11日(水)、2月7日(火) 午後4時～5時30分	9回 (五条高等学校パソコン部へ委託)	21名	甚目寺公民館 児童室

4月25日、7月25日、8月22日 9月26日、10月24日、11月28日、 12月26日、1月23日、2月27日 各月曜日 午前10時～11時30分	9回 (有志のボランティア協力による)	20名	美和歴史民俗資料館 研修室
---	------------------------	-----	------------------

※ 公民館事業を通じて、幅広く学習の場を提供することができました。また、健全な地域コミュニティの形成につながりました。

・評価指標

受講者数

・評価に係るエビデンス

受講者名簿 上記参加者数

● 令和4年度の実績を踏まえながら、令和5年度も継続及び新規の講座を開催します。

・数値目標

なし

■家庭教育推進事業

都市化や核家族化が進み、身近な子育てモデルもなく、親は育児不安やストレスを抱えている現状があります。親同士のつながりや子育てについての知識を広げることができるよう、各種事業を実施しました。

○幼児期家庭教育講座

講座名	開催日	開催場所	定員	受講者数
にこにこ学級【全6回】	5月13日・27日 6月3日・17日 7月1日・15日 各金曜日 午前	甚目寺公民館 ほか	18組	15組 32名
栄養満点ふりかけと野菜たっぷりお味噌汁講座	5月16日(月) 午前	美和公民館	10組	2組 4名
ドロンコ遊びをしよう講座	5月21日(土) 午前	海部東農協の美和ライスセンターの田んぼ	25組	15組 39名
赤ちゃんと一緒にバランスボール♪講座	6月15日(水) 午後	甚目寺公民館	10組	7組 14名
消防署へ行こう ～消防署見学と応急手当～講座	7月6日(水) 午前	海部東部消防署	10組	9組 20名
影絵の世界を楽しもう♪講座	7月26日(火) 午前	七宝公民館	15組	8組 18名
自分のスマホで！映える写真を撮ろう！講座	10月7日(金) 午前	七宝公民館	15組	12組 26名
親子で楽しく♪ベビーリトミック講座	10月31日(月) 午前	甚目寺総合福祉会館	20組	13組 26名

オータム！ファミリンピック開催!!講座	11月20日(日) 午前	七宝公民館	12家族	8家族 24名
クリスマスを食べよう♪講座	11月28日(月) 午前	美和公民館	10組	8組 16名
紙飛行機を作って遊ぼう！講座	1月15日(日) 午前	美和公民館	15家族	12家族 36名
飾り巻きずしを作ろう♪講座	2月27日(月) 午前	美和公民館	10組	8組 16名

○小学生親子ふれあい講座

講座名	開催日	開催場所	定員	受講者数
オーブントースターでやけるおうちパン講座 ～ふわふわ練乳パン・長芋のとろとろスープ～	5月28日(土) 午前	美和公民館	12組	10組 20名
お菓子作り講座 ～簡単クッキー～	6月4日(土) 午前	美和公民館	12組	12組 23名
木工クラフト講座 ～お家型貯金箱～	7月30日(土) 午前	七宝公民館	12組	11組 21名
サイエンス講座 ～衝突実験～	8月20日(土) 午前	七宝公民館	12組	9組 17名
フラワー講座 ～ハロウィンアレンジ～	10月22日(土) 午前	七宝公民館	15組	14組 28名
りぼん講座 ～オリジナルバッグ～	11月19日(土) 午前	七宝公民館	15組	15組 31名
お菓子作り講座 ～シフォンケーキ～	12月3日(土) 午前	美和公民館	12組	12組 26名
オーブントースターでやけるおうちパン講座 ～巻かない塩パン・鶏そぼろのみぞれスープ～	12月10日(土) 午前	美和公民館	12組	12組 26名

○家庭教育学習事業

事業名	開催日	開催場所	参加者数
親子で楽しむ音楽会	8月31日(水) 午前	美和文化会館	125名
親と子のコミュニケーション ～子どもの自己肯定感を高めるには～	12月9日(金) 午前	美和文化会館	13名
親子ふれあいデー	2月4日(土)	美和文化会館	566名

○家庭教育推進協力企業登録制度

企業内における家庭教育事業を奨励し、家庭教育の一層の促進を図ることを目的として協力企業の募集を行いました。

	登録企業・団体名	業 種
1	佐藤醸造株式会社	味噌・醤油製造業
2	株式会社原ネームプレート製作所	家電自動車プラスチック部品製造
3	株式会社弘和テック	製造業
4	勅使川原産業株式会社	運輸業
5	株式会社光電業社	電気工事業
6	有限会社立松空調サービス	空調設備工事・広告企画
7	特定非営利活動法人ほっとネット・みわ	まちづくり・中間支援事業 子育て支援事業
8	株式会社エコフォレスト	産業廃棄物処理業・建設業・不動産業
9	株式会社浦田建築工房	建設業
10	富士スクリーン印刷株式会社	製造業
11	株式会社サンクリエイト	塗装工事・防水工事・屋根工事・とび 土木・建築工事
12	株式会社坪井ガラス	サービス業
13	NDS株式会社	建設業
14	株式会社コーワ	その他製造業
15	株式会社エイビス	野球ユニフォーム製造・販売
16	株式会社ワコウ	理美容サロン向クロス等衛生用品及び 業務用エプロン等衛生用品の企画・製 造・販売
17	美吉建設株式会社 あま支店	総合建設業
18	株式会社 Comodo LABO	企画・デザイン
19	三輪電設株式会社	電気工事
20	特定非営利活動法人ママ・ぷらす	子育て支援

2 1	中部美化企業株式会社	製造業
2 2	川上産業株式会社	製造業
2 3	株式会社河村産業所	輸送用機械器具製造業、総合建設業
2 4	株式会社山田製作所	金属製品製造業
2 5	加藤製菓株式会社	飴菓子製造業
2 6	中日本炉工業株式会社	製造業

※ 家庭教育は人が最初に受ける教育であり、基本的な生活習慣を身につけるための重要な役割を果たしています。親と子がともに学び、ともに楽しむきっかけづくりとなりました。

・評価指標

受講者数、来場者数、登録者数

・評価に係るエビデンス

受講者名簿、家庭教育推進協力企業一覧

令和4年度親子ふれあいデー来場者数 566 名

● 令和5年度も、家庭教育推進協力企業の登録数を増やすとともに、子育て支援の一助となるよう親子ふれあいデーを実施します。

・数値目標

親子ふれあいデー来場者数500名以上

■青少年健全育成推進事業

青少年が心身ともにたくましく成長することを願い、非行防止や保護など、青少年の健全な育成を図るため、下記の事業を実施しました。

* 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部事業を中止しました。

	事業名	内 容	開催日・場所
1	夏期街頭パトロール	青少年健全育成推進協議会委員、小中学校教職員及びPTA役員との合同により、市内の街頭パトロールを実施しました。	7月・8月 小中学校夏休み 期間中
2	「あまつり 2022」夜間街頭パトロール	青少年健全育成推進協議会委員により、「あまつり 2022」において夜間街頭パトロールを実施予定でしたが、中止となりました。	8月 七宝焼アート ヴィレッジ *中止
3	「イルミネーション点灯式」街頭パトロール	青少年健全育成推進協議会委員により、「イルミネーション点灯式」において街頭パトロールを実施しました。	11月26日(土) 美和文化会館
4	「あま市人権講演会」啓発活動	青少年健全育成推進協議会委員により、「あま市人権講演会」において啓発活動を実施しました。	11月27日(日) 甚目寺公民館
5	冬期街頭パトロール	青少年健全育成推進協議会委員、小中学校教職員及びPTA役員との合同により、市内の街頭パトロールを実施しました。	12月 小中学校冬休み 期間中

6	「家庭の日」県民運動啓発活動	広報掲載、各施設へのポスター・リーフレットの掲示及び配布を実施しました。	2月1日(水)～28日(火)
---	----------------	--------------------------------------	----------------

※ 非行に走る若者など困難な状況を抱える青少年を支援し、子ども・若者の自立を育むべく、多様な交流の機会を計画しました。大人として、青少年の健全育成のためにどのようなことができるのかを考える契機となりました。

・評価指標

パトロール・啓発活動回数

・評価に係るエビデンス

なし

● 今後も学校の長期休暇を中心に、青少年の非行撲滅の啓発活動を推進します。

・数値目標

なし

■文化の杜指定管理事業

文化の杜（美和文化会館・美和図書館・美和ふれあいの森）の管理運営に指定管理者制度を導入し、民間事業者のノウハウを活用して、より効果的・効率的な運営に努めました。

・指定期間 平成30年4月1日～令和5年3月31日

・指定期間に係る指定管理料 552,324,000円

・令和4年度指定管理料 119,093,000円

・指定管理者 あまSL共同事業体 代表企業 昭和建物管理株式会社
構成企業 株式会社リブネット

※ 民間事業者のノウハウを活用した効果的・効率的な運営により、地域の文化振興に寄与することができました。

・評価指標

なし

・評価に係るエビデンス

なし

● 令和5年度もより効果的・効率的な運営に努めます。

・数値目標

なし

■美和文化会館事業

各種講座・教室、イベント事業などを開催し、文化・芸術に親しむ機会を提供するとともに、文化会館利用の促進を図りました。

○文化教室

事業名	開催日	定員	受講者数	申込者数	会場
アロマヨガ (6回コース)	4月1日・22日 5月6日・27日 6月10日・24日 各金曜日	20名	延174名	20名	アートスペースM
初心者向けのやさしいヨガ (6回コース)	4月6日・27日 5月11日・25日 6月1日・15日 各水曜日	20名	延171名	20名	アートスペースM
バランスボールエクササイズ (6回コース)	4月14日・28日 5月19日・26日 6月16日・30日 各木曜日	20名	延68名	14名	多目的ホールAB

転倒予防教室 (3回コース)	4月15日 5月13日 6月17日 各金曜日	20名	延34名	20名	多目的ホール A B ほか
ふれあいの森の不思議と魅力を知ろうウォーキング (3回コース)	4月17日 (日) 5月21日 (土) 6月19日 (日)	-	延12名	自由参加	ふれあいの森
文化の杜絵画展	4月20日 (水) ～5月20日 (金)	-	-	30点	2階ロビー
クレイフラワー教室 (2回コース)	4月26日 (火) 5月10日 (火)	20名	延26名	14名	アートスペース M
一人で踊れる！社交ダンス (体験版)	5月24日 (火)	20名	延36名	20名	多目的ホール A B C
一人で踊れる！社交ダンス	6月7日 (火)	20名	延34名	20名	多目的ホール A B C
ポーセラーツ教室	6月8日 (水)	25名	11名	12名	アートスペース M
一人で踊れる！社交ダンス (3回コース)	7月5日 8月9日 9月6日 各火曜日	20名	延88名	17名	多目的ホール A B C
初心者向けのやさしいヨガ (6回コース)	7月6日・20日 8月3日・24日 9月7日・21日 各水曜日	20名	延186名	20名	アートスペース Mほか
転倒予防教室 (3回コース)	7月8日 ※8月19日 ※9月2日 講師都合により中止 各金曜日	20名	12名	20名	多目的ホール B C
バランスボールエクササイズ (6回コース)	※7月14日 講師都合により中止 7月28日 8月4日・25日 9月8日・22日 各木曜日	20名	延40名	20名	多目的ホール A B ほか
アロマヨガ (6回コース)	7月15日・29日 8月12日・26日 9月16日・30日 各金曜日	20名	延172名	20名	アートスペース Mほか
蝉のささやきに誘われて4人展	7月15日 (金) ～9月17日 (土)	-	48点	-	2階ロビー
ふれあいの森の不思議と魅力を知ろうウォーキング (3回コース)	7月23日 (土) 8月28日 (日) 9月24日 (土)	-	延9名	自由参加	ふれあいの森
組んで・飾って楽しむ組み写真教室	7月26日 (火)	30名	15名	16名	多目的ホール B C
親子で学ぶお片付けレッスン	8月5日 (金)	20組	15名	8組	多目的ホール B C

マイケルダンスのスリラーをおどろう！ (4回コース)	※8月19日(金) 利用者都合により中止 8月27日(土) 9月2日(金) 9月24日(土)	20名	延28名	8名	多目的ホール BCほか
みわおもちゃ病院	8月21日(日)	-	延29個 (修理 台数)	-	ホワイエ
組んで・飾って楽しむ組み写真教室	9月13日(火)	20名	9名	16名	多目的ホール BC
ぶらっと写真展	10月1日(土) ～30日(日)	-	48点	-	2階ロビー
マイケルダンスのスリラーをおどろう！ (追加練習)	10月1日(土) ※10月2日(日) 利用者都合により中止	-	延10名	-	多目的ホール ABC
一人で踊れる！社交ダンス (3回コース)	10月4日 11月1日 12月13日 各火曜日	20名	延46名	20名	多目的ホール ABC
初心者向けのやさしいヨガ (6回コース)	10月5日・19日 11月2日・16日 12月7日・21日 各水曜日	20名	延175名	20名	アートスペース M
バランスボールエクササイズ (6回コース)	10月6日・20日 11月10日・24日 12月15日・22日 各木曜日	20名	延61名	20名	多目的ホール AB
転倒予防教室 (3回コース)	※10月7日 ※11月18日 ※12月2日 講師都合により中止 各金曜日	20名	-	-	-
アロマヨガ (6回コース)	10月14日・28日 11月11日・25日 12月9日・23日 各金曜日	20名	延183名	20名	アートスペース Mほか
ふれあいの森の不思議と魅力を知ろうウォーキング(3回コース)	10月30日(日) 11月26日(土) 12月18日(日)	-	延1名	自由 参加	ふれあいの森
紙粘土アート絵画と人形展	11月10日(木) ～12月10日(土)	-	33点	-	2階ロビー
消しゴムはんこでつくる年賀状	11月29日(火)	20名	12名	13名	アートスペース M
初心者向けのやさしいヨガ (6回コース)	1月4日・18日 2月1日・15日 3月1日・15日 各水曜日	20名	延153名	20名	アートスペース M
一人で踊れる！社交ダンス (3回コース)	1月10日 2月14日 3月7日 各火曜日	20名	延32名	20名	多目的ホール ABC
バランスボールエクササイズ (6回コース)	1月12日・26日 2月2日・23日 3月9日・23日 各木曜日	20名	延44名	20名	多目的ホール AB

アロマヨガ (6回コース)	1月13日・27日 2月10日・24日 3月10日・24日 各金曜日	20名	延165名	20名	アールスペース M
文化の杜ボールペン画展	1月15日(日) ～31日(火)	-	25点	-	2階ロビー
転倒予防教室 (3回コース)	※1月20日 ※2月17日 ※3月3日 講師都合により中止 各金曜日	20名	-	-	-
ふれあいの森の不思議と魅力を知ろうウォーキング(3回コース)	1月21日(土) 2月19日(日) 3月25日(土)	-	延5名	自由参加	ふれあいの森
文化の杜ボールペン画展	2月7日(火) ～19日(日)	-	22点	-	2階ロビー
みわおもちゃ病院	2月19日(日)	-	延73個 (修理台数)	-	2階ロビー
3.11(東日本大震災)から学ぶ防災展	3月1日(水) ～25日(土)	-	80点	-	2階ロビー

○イベント事業

事業名	出演者(敬称略)	開催日(開催期間)	参加者数	会場
愛知室内オーケストラ 第33回定期演奏会 公開リハーサル	愛知室内 オーケストラ	5月13日(金)	22名	大ホール
名古屋音楽大学 地域連携プロジェクト	橋本真介ほか	5月22日(日)	370名	大ホール
つなぐ環境イベント ECOフェス	RAPOエコ	6月5日(日)	1,300名	ふれあいの森ほか
おさがり広場	にこり park	7月9日(土)	130名	ホワイエ
愛知県芸術劇場 ファミリー・プログラム	愛知県芸術劇場	8月3日(水)	84名	大ホール
0才からの オーケストラコンサート	愛知室内 オーケストラ	9月4日(日)	431名	大ホール
ブラアイチ in あま	愛知県ほか	9月17日(土)	292名	大ホール ほか
愛知県民俗芸能大会 (あま市大会)	愛知県ほか	10月9日(日)	310名	大ホール
オープンギャラリー イベント	シャチ八郎ほか	10月23日(日)	1,200名	大ホール ほか

愛知室内オーケストラ 第45回定期演奏会 公開リハーサル	愛知室内 オーケストラ	12月4日(日)	119名	大ホール
クリスマスコンサート in イルミネーション 2022	高橋誠ほか	12月11日(日)	502名	大ホール
文化の杜ミュージカルショー 子どもたちのための芸術劇場	4年椿組ほか	12月18日(日)	478名	大ホール
第3回未来を紡ぐ コンサート	未来を紡ぐコンサート 実行委員会	1月22日(日)	360名	大ホール
子ども狂言鑑賞会 ～見て、体験して狂言に親しもう～	NPO法人 ほっとネット・みわ	2月26日(日)	97名	大ホール ほか

※ これらの講座・イベント等の開催により、文化・芸術に親しむ機会を提供しました。

・評価指標

受講者数、参加者数

・評価に係るエビデンス

月次報告書 上記参加者数

● 令和4年度の実績を踏まえながら、令和5年度も継続及び新規の講座・イベント等を開催します。

・数値目標

なし

■美和図書館事業

企画展示や各種講座・講演会、読み聞かせ会などを開催し、図書館利用の促進を図りました。

* 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部事業を中止しました。

○企画展示

展示名	内容	開催日	会場
特別 展示	「恐竜展」 市内在住の花井博之氏からコレクションをお借りして展示しました。	4月10日(日) ～8月31日(水)	図書館内 展示ケース
	「消しゴムはんこREEとhottēsuttē」 市内在住のREE氏から作品をお借りして展示しました。	9月13日(火) ～11月30日(水)	
	「郷土玩具・卵」 大照コレクションから干支の「卯」を展示しました。	12月1日(木) ～1月18日(水)	
	「味噌・醤油展」 市内の企業、佐藤醸造様にご協力いただき、伝統の味噌・醤油について展示しました。	1月28日(土) ～3月26日(日)	
テーマ 展示	読み聞かせおすすめ絵本(小学校低・中・高学年)	通年	図書館内
	子どもの本の会「西内ミナミ」	4月1日(金) ～13日(水)	
	日本の映画っていいね! 2022	4月1日(金) ～5月5日(木・祝)	
	いきいき展示コーナー「かがく絵本(かず・その他)」	4月1日(金) ～5月7日(土)	
	SDGsターゲット10・11・12	4月1日(金) ～5月13日(金)	

読み聞かせ春のおすすめ絵本（小学校低・中・高学年）	4月1日（金） ～5月31日（火）
本屋大賞2022	4月1日（金） ～6月30日（木）
いきいき展示コーナー「きょうはなんのひ？4月・5月」	4月3日（日） ～5月31日（火）
ふくろうの森コーナー「第14回MOE絵本屋さん大賞」	4月5日（火） ～5月31日（火）
愛知県生誕150周年	4月8日（金） ～5月31日（火）
ふくろうの森コーナー「WE LOVE きょうりゅう」	4月8日（金） ～7月13日（水）
子どもの本の会「荒井良二」	4月14日（木） ～5月11日（水）
課題図書2022	5月6日（金） ～8月31日（水）
藤田浩子さん講演会	5月8日（日） ～6月28日（火）
子どもの本の会「すとうあさえ」	5月12日（木） ～6月10日（金）
沖縄返還50年	5月15日（日） ～6月11日（土）
めざせ！エコライフ	5月15日（日） ～7月7日（木）
いきいき展示コーナー「きょうはなんのひ？6月・7月」	6月1日（水） ～7月31日（日）
ふくろうの森コーナー「緑色の本」	6月3日（金） ～7月31日（日）
涼しくなる本	6月4日（土） ～8月31日（水）
ふくろうの森コーナー「ウクライナを考える」	6月4日（土） ～12月15日（木）
子どもの本の会「おのりえん」	6月11日（土） ～7月13日（水）
SDGsターゲット13・14	6月12日（日） ～7月31日（日）
夏のおすすめ本（小学校低・中・高学年・YA）	7月1日（金） ～8月31日（水）
二ツ寺大根を育てよう！	7月6日（水） ～12月28日（水）
鉄道どんどん	7月10日（日） ～8月31日（水）
ふくろうの森コーナー「第167回芥川賞・直木賞」	7月12日（火） ～8月31日（水）
子どもの本の会「福本友美子」	7月14日（木） ～9月8日（木）
ふくろうの森コーナー「100万回死んだねこ」	7月17日（日） ～10月13日（木）
ふくろうの森コーナー「警察小説ノススメ」	8月2日（火） ～9月16日（金）
いきいき展示コーナー「きょうはなんのひ？8月・9月」	8月2日（火） ～9月29日（木）
SDGs目標15	8月2日（火） ～11月30日（水）
青少年によい本をすすめる県民運動	8月7日（日） ～10月23日（日）
BOOKマルシェ	9月1日（木） ～10月30日（日）

ふくろうの森コーナー「敬老の日読書のすすめ2022」	9月3日(土) ～10月6日(木)
ハロウィン	9月7日(水) ～10月30日(日)
子どもの本の会「tupera tupera」	9月9日(金) ～10月12日(水)
読み聞かせ秋のおすすめ絵本(小学校低・中・高学年)	9月11日(日) ～11月30日(水)
ふくろうの森コーナー「防災」	9月16日(金) ～11月13日(日)
認知症を知ろう!	9月27日(火) ～12月24日(土)
読書感想画中央コンクール	9月27日(火) ～3月31日(金)
いきいき展示コーナー「きょうはなんのひ?10月・11月」	10月1日(土) ～11月30日(水)
ふくろうの森コーナー「やまわきゆりこさんすてきなえほんいっぱいありがとう」	10月7日(金) ～11月30日(水)
子どもの本の会「市居みか」	10月13日(木) ～11月9日(水)
ふくろうの森コーナー「歴史講演会『あま市の魅力を語ろう』」	10月14日(金) ～11月30日(水)
わたしの一押し本	10月14日(金) ～11月30日(水)
クリスマスの本	11月1日(火) ～12月25日(日)
人権	11月1日(火) ～12月28日(水)
子どもの本の会「鎌田歩」	11月10日(木) ～12月7日(水)
お正月	11月15日(火) ～1月25日(水)
いきいき展示コーナー「きょうはなんのひ?12月・1月」	12月1日(木) ～1月31日(火)
SDGs目標16・17	12月1日(木) ～3月31日(金)
ふくろうの森コーナー「東大生が読んだ本2021」	12月1日(木) ～3月31日(金)
読み聞かせ冬のおすすめ絵本(小学校低・中・高学年)	12月1日(木) ～3月31日(金)
子どもの本の会「今年出会った私の好きな子どもの本」	12月8日(木) ～1月11日(水)
科学道100冊2022	1月4日(水) ～3月31日(金)
第168回芥川賞・直木賞	1月4日(水) ～3月31日(金)
若い人に贈る読書のすすめ2023	1月6日(金) ～3月31日(金)
子どもの本の会「五味太郎」	1月12日(木) ～2月8日(水)
さようならそしてありがとうシャンシャン	1月18日(水) ～3月31日(金)
味噌 miso 醤油 soy sauce	1月28日(土) ～3月31日(金)
いきいき展示コーナー「きょうはなんのひ?2月・3月」	2月1日(水) ～3月31日(金)
子どもの本の会「片山健」	2月9日(木) ～3月8日(水)

	A. L. C. 10号	3月1日(水) ～3月31日(金)	
	子どもの本の会「秋野不矩」	3月9日(木) ～3月31日(金)	
ワーク ショップ 展示	カラフルあまけろちゃん	8月2日(火) ～9月30日(金)	図書館内
	カラフルペンギン	10月21日(金) ～2月15日(水)	
	カラフルサンタ	11月26日(土) ～12月25日(日)	

〇イベント事業

事業名	内 容	開催日	参加者数	会 場	
学習スペース	開館日の貸切イベントがない日に、2階ロビーへ学習できるスペースを設置しました。	4月1日(金) ～3月31日(金)	-	美和文化会館 2階ロビー	
雑誌譲渡会	リサイクルとなる雑誌の譲渡を行いました。	4月23日(土)	-	美和文化会館 1階ロビー	
ヨム キッズ 2022	映画上映会	「バースデーワンダーランド」を上映しました。	4月23日(土)	18名	美和文化会館 多目的ホールABC
	ブックピクニック	「絵本をいっぱい読もう！」コーナーにおすすめの本を展示し、青空の下、親子で読書を推奨しました。		-	図書館内、 ふれあいの森
	読書手帳配布	市内小学校12校の図書室と新1年生を対象に子ども向け読書手帳を配布しました。	4月23日(土) ～5月22日(日)	約750枚	市内各小学校
	ブックリスト配付	テーマ別のブックリストを配付しました。		-	図書館内
	パパ&グランパのおはなし会	美和おはなしグループ・グー・チョコキ・パーがパパやグランパの読み手を募り、絵本や紙芝居を親子で楽しみました。		50名	美和文化会館 1階ロビー
	マルシェ	ハンドメイド、キッチンカーを中心に就労支援事業所にも参加していただきマルシェを行いました。	5月22日(日)	-	美和文化会館 多目的ホールABC アートスペースSM ふれあいの森
	古本市	古本屋に出店していただきました。		-	美和文化会館 1階ロビー
	みわおもちゃ病院	「みわおもちゃ病院」の方々に来ていただき、一般の方が持ってきたおもちゃの修理を行いました。		37個	美和文化会館 1階ホワイエ
つなぐ環境イベント ECOフェス	主催RAPOエコに共催し、図書館内で「めざせ！エコライフ」の企画展示とそのPRをホワイエで行いました。	6月5日(日)	-	美和文化会館 1階ホワイエ、 図書館内	
ボランティア養成講座 「藤田浩子さん講演会」	藤田浩子氏をお迎えし、読み聞かせを楽しむ知恵や工夫をお話いただきました。	6月19日(日)	100名	美和文化会館 多目的ホールABC	

読書ラリー	小中高校生を対象に期間中、5回貸出のスタンプを集めた方に粗品をプレゼントしました。	7月1日(金) ～8月31日(水)	788名	図書館内	
鉄道ポスターのプレゼント	館内展示「鉄道どんどん」にあわせ、『月刊鉄道ファン』の鉄道ポスターを(株)交友社の協力でプレゼントしました。	7月10日(日) ～8月31日(水)	300名	図書館内	
学習室の開設	夏休み期間中、学習室を開設しました。	7月20日(水) ～8月31日(水)	338名	美和文化会館 アートスペースM	
ペンギンさんと虫とあそぼう!	重盛ペンギン氏をお迎えし、ふれあいの森で昆虫採集をした後、標本作りを学ぶ予定でした。	7月30日(土)	中止	美和文化会館 多目的ホーABC、 ふれあいの森	
大人の寺子屋 ニッ 寺大根を育てよう!	グループ毎の区画で畝作りから収穫まで交流を図りながら行いました。	9月11日(日)、 10月2日(日)、 11月6日(日)、 12月11日(日)	8グループ	美和文化会館 西口花壇、 会議室	
ブラアイチinあま	「ブラアイチinあま」の参加者から希望者先着100名へ「桐原いづみ先生と美和図書館コラボ缶バッジ」をプレゼントしました。	9月17日(土)	100名	図書館内	
秋だから図書館へいこう	グー・チョコキ・パーによる紙芝居リレー&駄菓子屋さん	美和おはなしグループグー・チョコキ・パーを中心に子どもから大人までが紙芝居を演じました。	147名	美和文化会館 1階ロビー	
	みわおもちゃ病院	「みわおもちゃ病院」の方々に来ていただき、一般の方が持ってきたおもちゃの修理を行いました。	17件	美和文化会館 アートスペースM	
	映画上映会	「ふしぎ駄菓子屋銭天堂」を上映しました。	63名	美和文化会館 多目的ホールABC	
	ミニワークショップ「カラフルペンギン」	折紙のペンギンの顔に絵付けするワークショップを行いました。	10月16日(日)	110名	美和文化会館 1階ロビー
	市民活動団体などの出展	野菜やパンなどを販売していただきました。	-	美和文化会館 1階ロビー、 美和文化会館建物 西側入口、北側入口	
	「わたしの一押し本」展示	利用者の一押し本の書評と読書絵を掲示しました。	83名	図書館内	
	ボランティア紹介	ボランティアグループの活動風景と活動内容をボードで紹介しました。	-	美和文化会館 1階ロビー	
シルバーカレッジ	あま市シルバーカレッジにて「読書で交流」でビブリオバトルなどを行いました。	11月8日(火)	30名	美和文化会館内 シルバーカレッジ教室	

歴史講演会「あま市の魅力を語ろう」	京都産業大学客員教授前津島市立図書館館長園田俊介氏と美和歴史民俗資料館近藤博氏をお迎えし、あま市の歴史・文化についてお話いただきました。	11月19日(土)	54名	美和文化会館 多目的ホールABC	
わたしの一押し本	展示していた利用者の一押し本の書評と読書絵から投票により最優秀賞・優秀賞が9作品選ばれました。	12月4日(日)	-	図書館内	
桐原いづみさんの缶バッジNDCキーホルダーのプレゼント	あま市在住の漫画家桐原いづみ氏とコラボで作ったNDCのイメージキャラ缶バッジキーホルダーを貸出しレシートの枚数によりプレゼントしました。	12月20日(火) ～1月29日(日)	-	図書館内	
本の福袋	図書館員おススメの本を2冊ずつ袋詰めにして貸出をしました。	1月4日(水) ～8日(日)	44個	図書館内	
あま市昔のこし今のこし写真展	利用者から提供いただいた市の未来に残したい写真を展示しました。	1月21日(土) ～2月12日(日)	-	図書館内	
インターンシップ受入	三重県皇学館大学より大学生4人が蔵書点検やYAコーナー向けのPOP作成などを体験しました。	2月14日(火) ～16日(木)	4名	図書館内	
ワークショップ	カラフルあまけろちゃん	折紙のカエルの顔に絵付けするミニワークショップを行いました。	4月23日(土) ～30日(土)	-	図書館内
	一日図書館員	講師：図書館スタッフ 小学4年生から中学生3年生までを対象に図書館の仕事を体験していただきました。	7月27日(水) ～29日(金)	延6名	美和文化会館 会議室、 図書館内
	親子で紙ヒコーキを飛ばそう！	講師：神田吉男氏 紙ヒコーキのデモンストレーション後、3種の紙ヒコーキ作りと飛行距離を競い、親子で紙ヒコーキのキャッチボールなどを行いました。	8月7日(日)	31名	美和文化会館 多目的ホールABC
	リサイクル素材でブックカバーを作ろう	小学生以上を対象に、リサイクル素材の紙袋や包装紙でブックカバーやブックマークを作りました。	11月13日(日)	6名	美和文化会館 会議室
	カラフルサンタ	折紙のサンタの顔に絵付けをするミニワークショップを行いました。	11月1日(火) ～20日(日)	130名	図書館内

〇おはなし会

事業名	内容	開催日または回数	参加者数	会場
ももこのおはなし会	親子で楽しむ絵本とわらべうた	14回開催	227名	美和文化会館 1階ホワイエ、 図書館内 おはなしコーナー

グー・チョキ・パーのおはなし会	絵本の読み聞かせ、わらべうた、紙芝居、工作、お手玉遊び、手遊び、ストーリーテリング等を行いました。	9回開催	281名	美和文化会館 1階ロビー、 図書館内 おはなしコーナー
グー・チョキ・パーキッズのおはなし会	子どもによる子どものためのおはなし会を行いました。	8月21日(日) 3月25日(土)	延62名	美和文化会館 1階ロビー
語りの会おはなしペロリのおはなしをきく会	ストーリーテリング	8月27日(土) 3月4日(土)	延20名	美和文化会館 1階ホワイト
お楽しみおはなし会	絵本の読み聞かせ、わらべうた、紙芝居等を行いました。	7回開催	121名	図書館内 おはなしコーナー
グー・チョキ・パーのお正月あそび	昔なつかしい羽子板、こままわし、すごろく	1月14日(土)	52名	美和文化会館 多目的ホール A B C

○乳幼児・児童サービス

事業名	内 容	開催日または回数	実施者数	会 場
ブックスタート	乳児健診の親子に対して読み聞かせとわらべうたを歌いました。また、読み聞かせの重要性の説明や図書館等の利用案内を行い、ブックスタートパックを手渡しました。	9回	174名	甚目寺保健センター (美和図書館員参加分)
出張読み聞かせ	絵本の読み聞かせ、紙芝居、わらべうた、手遊び等を行いました。	87回	1,672名	子育て支援センター つどいの広場 七宝北部保育園 正則保育園 篠田保育園 青山幼稚園 木田幼稚園 明和幼稚園
図書館見学	正則保育園	6月10日(金)	28名	図書館内、 美和文化会館ロビー
	篠田保育園	6月21日(火)	32名	図書館内、 美和文化会館ロビー

○学校支援サービス

事業名	対 象	開催日	参加者数	会 場
図書館見学	美和東小学校3年生	5月25日(水)	45名	図書館内
	七宝小学校3年生	11月4日(金)	66名	図書館内、 美和文化会館大ホール

	美和小学校2年生	12月14日(水)	51名	図書館内、 美和文化会館大ホール
職場体験	美和中学校2年生	10月26日(水) ・27日(木)	4名	図書館内
	甚目寺中学校2年生	11月1日(火) ・2日(水)・4日(金)	4名	図書館内
	甚目寺南中学校2年生	11月8日(火) ～10日(木)	4名	図書館内

○図書館利用者数・年間貸出冊数(点数)

図書館	利用者数(前年)	年間貸出点数(前年)	蔵書点数
美和図書館	51,954名(43,586名)	214,378点(180,265点)	129,023点

※ これらの講座・イベント等の開催により、図書に親しむ機会を提供しました。

・評価指標

参加者数、実施者数

・評価に係るエビデンス

月次報告書 上記参加者数

● 令和4年度の実績を踏まえながら、令和5年度も継続及び新規の講座・イベント等を開催します。

・数値目標

なし

■子ども・若者支援事業

○あま市・大治町子ども・若者支援地域協議会

代表者会議において協議会の年間活動方針を決定するとともに、協議会を構成する関係機関の相互連携や情報交換を図るための実務者会議を開催しました。

開催日・場所	内 容
4月27日(水) 甚目寺公民館	代表者会議 令和3年度事業報告について 令和4年度事業計画(案)について
6月21日(火) 甚目寺公民館	第1回実務者会議 講 話 講 師 NPO 法人育て上げネット プロジェクトサポートオフィスコンサルタント CO-WORK-A. LLC 代表社員 田中 成幸 氏 演 題 「子ども・若者支援地域協議会の役割とは」
2月7日(火) 大治町スポーツセンター	第2回実務者会議 グループワーク ファシリテーター NPO 法人育て上げネット プロジェクトサポートオフィスコンサルタント CO-WORK-A. LLC 代 表 社 員 田中 成幸 氏 演 題 「コロナ禍での不登校増加について」
甚目寺公民館又は大治町立公民館	あま市・大治町合同定例会 協議会の運営について両市町が協議し、かつ事務の連絡調整を図るため開催 (令和4年4月～令和5年2月、全10回)

○あま市子ども・若者相談窓口

子ども・若者育成支援に関する相談に応じ、関係機関の紹介その他の必要な情報の提供及び助言を行う拠点となる相談窓口を運営しました。

開催日・場所	内 容
毎週火曜日と金曜日 (年未年始及び祝休日を除く) 甚目寺公民館 1階相談室	相談対象者 あま市・大治町に居住する概ね15歳から 39歳までの子ども・若者又はその家族 相談人数 22名 延べ相談回数 89回

※ 子ども・若者支援地域協議会と相談窓口の運営を通じて、ひきこもりやニート、不登校や発達障がい等、社会生活を営む上での困難を有する子どもや若者に対し、公的機関・民間団体等が連携して継続的な支援を実施するための足掛かりとすることができました。

・評価指標

相談人数、延べ相談回数

・評価に係るエビデンス

実績報告書 上記相談人数、延べ相談回数

● 市の組織の見直しに伴い、「子ども・若者相談窓口」を令和5年度4月から社会福祉課へ移管することとなりました。

・数値目標

なし

■はたちの式事業

成人の日を迎えられたことを祝し、これから一層飛躍されることを願って、市と市教育委員会の共催により、はたちの式を実施しました。

・日時及び会場：令和5年1月8日（日）

甚目寺地区：午前9時30分開始 甚目寺公民館大ホール

七宝・美和地区：午前10時30分開始 美和文化会館大ホール

・行事の内容：式典、はたちの式実行委員会企画

・記念品：印鑑ケース

・対象者：平成14年4月2日～平成15年4月1日生まれ

・対象人数：926名（男性455名、女性471名）

・参加者：688名（男性357名、女性331名）

・参加率：約74.2%

上記の他、市外からの参加を希望した参加者46名（男性28名、女性18名）

※ 2会場での開催でしたが、はたちの式実行委員による、誓いのことば、交通安全宣言、アトラクション等が行われ、記憶に残る式典となりました。

・評価指標

なし

・評価に係るエビデンス

なし

● はたちの式を開催することで、社会人としての自覚と責任感を促します。令和5年度も実行委員会による運営に取り組みます。

・数値目標

なし

■あま発未来創造塾

次世代の市を担っていく若者と市長・教育長との対話の場を設け、共生・協働のまちづくりに対する意識の向上を図ることを目的とし、市の未来について考えました。

開催日	内 容 (はたちの式実行委員会)	内 容 (市民有志)
5月25日(水)	あま発未来創造塾の概要説明	—
6月21日(火)	あま市の現状について	—
8月9日(火)	あま市の未来について	—
9月9日(金)	—	令和4年度の未来塾について
9月16日(金)	あま市がより良い街となるための提案書の作成	—
10月7日(金)	—	未来塾プロジェクト「みんなで作ろう！あまっ子クッキング」について
10月18日(火)	前回未来塾で作成した提案書のブラッシュアップ	—
11月8日(火)	—	未来塾プロジェクト「みんなで作ろう！あまっ子クッキング」について
12月4日(日)	—	未来塾プロジェクト「みんなで作ろう！あまっ子クッキング」
12月6日(火)	市長・教育長・教育部長との懇談会に向けたヒアリング力向上について	—
2月3日(金)	市長・教育長・教育部長との懇談会のテーマについて	—
2月7日(火)	—	令和4年度の活動振り返り 令和5年度の未来塾について
2月21日(火)	市長・教育長・教育部長との懇談会	

※ 市の現状を考えるきっかけづくりとして、市が取り組んでいる事業を紹介し、市への興味と問題意識を芽生えさせ、まちづくりへの意識を高めることができました。

・評価指標

なし

・評価に係るエビデンス

なし

● 令和5年度も、はたちの式実行委員を中心とした未来創造塾を実施し、まちづくりに関するグループワークを行います。

・数値目標

なし

■シルバーカレッジ事業

市内在住・在勤の60歳以上の方及びシルバーカレッジ卒業生を対象に、学び、交流、健康づくりの場を提供するため、シルバーカレッジ及びシルバーカレッジOB会講座を開催しました。

○シルバーカレッジ

回	内 容	開催日
1	入学式／自己紹介	6月11日(土)
2	ハピトレ ～広げよう笑顔の輪～	6月14日(火)
3	バランスボールで有酸素運動	6月28日(火)
4	ゼロから楽しく学ぼう！スマートフォン講座 ～便利な機能を暮らしに生かそう～	7月12日(火)
5	あま市をもっと好きになる！	7月26日(火)
6	身近なSDGs	8月2日(火)
7	地域の防災 ～いま何をしたらいい？～	8月30日(火)
8	ご用心！身近に潜む消費者トラブル	9月6日(火)
9	社会見学(犬山城下町歴史散策・守口漬工場見学)	9月13日(火)
10	あま市史跡巡り①	9月27日(火)
11	あま市史跡巡り②	10月11日(火)
12	七宝焼を作ろう！	10月25日(火)
13	令和時代の子育て事情 ～昔と違うこと、変わらないこと～	11月1日(火)
14	読書で交流／給食センターへ行こう！	11月8日(火)
15	オーラルフレイルについて学ぼう！	11月15日(火)
16	エンディングノートを書いてみよう！	11月29日(火)
17	運動不足を解消！すぐできる健康体操	12月7日(水)
18	卒業文集・アルバムを作ろう！①	12月20日(火)
19	卒業文集・アルバムを作ろう！②	1月17日(火)
20	卒業式／アトラクション	1月28日(土)

- ・会 場：シルバーカレッジ教室（美和文化会館内）ほか
- ・時 間：午前9時30分～午後0時30分
- ・対 象：あま市在住・在勤の60歳以上の方
- ・参加者：30名（うち卒業生29名）

○シルバーカレッジOB会講座

内 容	開催日	会 場	参加者数
第1回OB会講座 フレイル予防 学習編	6月29日(水)	美和公民館	24名
第2回OB会講座 「睡眠」と「健康」の知恵袋	9月12日(月)	美和公民館	24名

第3回OB会講座 歴史講演会「鎌倉街道探訪記」	10月30日（日）	シルバーカレッジ教室	21名
第4回OB会講座 歴史散策会「鎌倉街道をゆく」	12月19日（月）	あま市西今宿 地内ほか	18名
第5回OB会講座 わたしと家族の「そうぞく」	2月14日（火）	美和公民館	17名

- ・対象：シルバーカレッジ卒業生

- ・対象者：100名

※ シルバーカレッジ事業を通して、学びや交流の場を提供することにより、地域コミュニティの活性化や、互いに助けあえる共助の生活に寄与することができました。

- ・評価指標

- 参加者数

- ・評価に係るエビデンス

- シルバーカレッジ参加者数及び参加者名簿

● 令和5年度もシルバーカレッジ事業の目的を踏まえながら事業を実施します。

- ・数値目標

- 参加率85%以上

■人権啓発推進事業

市民一人ひとりの人権が尊重される社会を実現するために、市民が参加しやすい講演会を計画し、人権に対する正しい理解や行動を育む教育・啓発活動の推進を図ることを目的としました。

* 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人数制限をし開催しました。

○海部地区人権教育講演会（共催：あま市小中学校人権教育研究会）

- ・日時：令和4年8月5日（金）午後2時～午後4時

- ・会場：甚目寺公民館 大ホール

- ・講師：弁護士 仲岡 しゅん氏

- ・演題：「LGBTとジェンダー・セクシュアリティを巡る人権問題」

- ・参加者数：261名

※ 講演会の開催を通じて、参加者の人権問題の正しい理解及び人権に対する意識の向上に寄与することができました。

- ・評価指標

- 講演会アンケートの感想について「とてもよかった」「よかった」の割合

- 令和4年度87.2%

- ・評価に係るエビデンス

- 講演会アンケート結果

● 人権問題に係る正しい認識と理解を深めるため、令和5年度も事業を実施します。

- ・数値目標

- 上記割合90%以上

■地域学校協働活動事業

地域と学校をつなぐ地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）の配置や地域学校協働活動の担い手となる地域ボランティアを確保する等、地域学校協働本部を整備することにより、コーディネート機能を強化し、より多くのより幅広い層の地域住民、団体等の参画を得て、地域学校協働活動を推進しました。

○コーディネート実績

	内 容	地域ボランティア	開催日（開催期間）	開催場所
1	七宝中学校 「環境整備活動(除草作業)」 (人員の確保)	4名	9月10日(土)	七宝中学校
2	秋竹小学校 「環境整備活動(除草作業)」 (人員の確保)	延べ8名	10月11日(火) ～14日(金)	秋竹小学校
3	宝小学校 「第2回トイレきれいボラ ンティア」(人員の確保)	4名	12月20日(火)	宝小学校

○その他

開催日	内 容
5月31日(火)	地域コーディネーター連絡会議
12月20日(火)～24日(土)	啓発用リーフレット各戸配布
12月23日(金)	第1回運営委員会開催
3月23日(木)	第2回運営委員会開催

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意しながらではありましたが、3件のコーディネート実績により、地域と学校との連携強化が図られました。

- ・評価指標

コーディネート実績の年間件数

- ・評価に係るエビデンス

協働活動実績一覧表 上記コーディネート実績

- 組織的かつ継続的に地域学校協働活動を推進するには、地域コーディネーターの充実や資質向上、また地域ボランティアの確保が求められます。さらには、地域学校協働活動への理解促進を図ることが必要であり、学校関係者、地域住民、保護者等への普及啓発をより一層推進します。

- ・数値目標

コーディネート実績年間8件

■社会教育団体育成事業

* 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部事業を中止しました。

『あま市文化協会』

市民及び市内文化団体が日頃の文化・芸術活動の成果を発表し、市の文化芸術振興の推進及び文化創造の発展に寄与することを目的とし、市の文化・芸能の発表を積極的に行っている「あま市文化協会」に対し補助金を交付しました。

○あま市文化協会補助事業

第13回あま市文化祭（あま市文化協会主催）

- ・作品展示、生花展示、体験コーナー

日 時：11月5日(土) 午前9時～午後4時

11月6日(日) 午前9時～午後3時

会 場：七宝公民館、甚目寺公民館、美和文化会館

参加者数：文化協会29団体289名、一般参加49名

- ・芸能発表会

日 時：11月5日（土） 午前10時～午後4時30分
11月6日（日） 午前10時～午後3時

会 場：美和文化会館 大ホール

参加者数：文化協会35団体394名、一般参加8団体173名

・第13回あま市民囲碁大会

日 時：11月13日（日） 午前9時～午後5時

会 場：甚目寺公民館

参加者数：文化協会3団体58名、一般参加2名

・第13回あま市民将棋大会

日 時：11月13日（日） 午前9時～午後5時

会 場：美和文化会館

参加者数：文化協会2団体38名、一般参加10名

『あま市女性の会』

女性の社会参画を促進し、社会教育及び地域社会の発展のために、多くの女性参加が得られるような各種事業を積極的に行っている「あま市女性の会」に対し補助金を交付しました。

○あま市女性の会補助事業

・夏まつり盆踊り練習会

日 時：令和4年7月2日（土）午後1時～午後3時30分

会 場：甚目寺公民館 講義室1・2

参加者数：43名

・ゴキブリ団子作り

日 時：5月～6月

会 場：各地区

参加者数：66名

・主催講座「親子でクッキー作りを楽しみましょう」

日 時：令和4年7月30日（土）、8月6日（土）午前10時～正午

会 場：コミュニティプラザ萱津

参加者数：15名

・主催講座「干支の木目込人形作り」

日 時：令和4年11月15・22日（火）午前9時30分～正午

会 場：甚目寺公民館 研修室

参加者数：20名

・チャリティーバザー

日 時：令和4年11月20日（日）午後1時～3時

会 場：甚目寺公民館 大ホールホワイエ

参加者数：約100名

・主催講座「オリジナルオカリナを作って演奏しよう！」

日 時：令和5年1月11日・25日（水）、2月8日（水）
午前10時～正午

会 場：甚目寺公民館 実習室・視聴覚室

参加者数：各12名

○サマーキャンプ補助事業

・あま市青少年キャンプ *中止

日 時：7月23日（土）、24日（日）

会 場：文化の杜

※ 『あま市文化協会』

「文化祭」「市民囲碁大会」「市民将棋大会」の開催を通じて、市の文化芸術

振興の推進及び文化創造の発展に寄与することができました。

『あま市女性の会』

各種事業を通じ、より一層女性の社会参画に有効な事業を展開することができました。

『サマーキャンプ補助事業』について、小学生の異学年交流の場として貴重な機会であり、青少年の健全育成のため計画しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止としました。

・評価指標

- 『あま市文化協会』 文化祭参加者数
- 『あま市女性の会』 主催事業参加者数
- 『サマーキャンプ』 サマーキャンプ参加者数

・評価に係るエビデンス

- 『あま市文化協会』 あま市文化協会補助金実績報告書 上記参加者数
- 『あま市女性の会』 あま市女性の会補助金実績報告書 上記参加者数
- 『サマーキャンプ』 あま市青少年キャンプ補助金実績報告書 上記参加者数

- 『あま市文化協会』、『あま市女性の会』両団体について、事業目的及び市民協働の観点からみても、市の積極的な協力が不可欠と考えられます。両団体と市が協力し合いながらお互いを尊重し、補い合い、対等のパートナーとして、共通の目的のために事業に取り組む必要があります。

『サマーキャンプ補助事業』について、令和5年度も青少年の健全育成のため、継続していきます。

・数値目標

なし

■歴史民俗資料館事業

市の歴史文化を認識する機会を各種事業において提供しました。同時に市の歴史文化を発信し、子どもから大人まで幅広い年代層に郷土愛を育むきっかけづくりとしました。

○企画展示会

美和歴史民俗資料館、甚目寺歴史民俗資料館において企画展を実施し、市内外より多くの来館者があり、広く市の歴史文化をPRすることができました。

企画展名	開催期間	開催場所	入館者数
セピア色のあまっ子展	4月10日(日)～ 5月10日(火)	美和歴史民俗資料館	289名
第31回 ときのきねんび展	5月30日(月)～ 7月3日(日)	美和歴史民俗資料館	1,918名
浮世絵見よう～シリーズ化する浮世絵～	11月5日(土)～ 12月4日(日)、 12月9日(金)～ 1月15日(日)、 1月20日(金)～ 2月26日(日)	美和歴史民俗資料館	1,155名
見てみて鉄道写真	3月5日(日)～ 26日(日)	美和歴史民俗資料館	688名
日本のお金と世界のお金	3月13日(月)～	甚目寺歴史民俗資料館	183名

○歴史散策事業

市内各地に点在する史跡や文化財をめぐり、市の歴史を再認識する機会を設け

ました。

事業名	開催日	散策地	参加者数
歴史ガイドと行く鎌倉街道	4月23日(土)	萱津地区	24名
歴史散策会・甚目寺編 第1弾	7月16日(土)	甚目寺観音境内	10名
【協力】ブラアイチ in あま	9月17日(土)	二ツ寺、花正	292名
歴史散策会・甚目寺編 第2弾	12月17日(土)	甚目寺観音周辺	16名
浮世絵見よう 連動企画 武将のふるさとを散策しよう 福島正則	12月18日(日)	二ツ寺周辺	18名
浮世絵見よう 連動企画 武将のふるさとを散策しよう 蜂須賀正勝	1月22日(日)	蓮華寺周辺	14名
浮世絵見よう 連動企画 武将のふるさとを散策しよう おまつの方	2月19日(日)	沖之島周辺	雨天 中止

○水文化継承事業（エコきっず調査隊）

小学生を対象として、地元の川や生物を調べることにより、市の水文化（田んぼ）の役割と、地域と水との関わり合いを知る機会を設けました。

内 容	開催日	参加者数
身近な生き物調査	8月5日(金)	12名
木曾川調査（協力：国土交通省木曾川下流事務所）	8月9日(火)	12名
エコきっずサミット	8月26日(金)	12名

○講演会事業

市内、海部地域の歴史文化に特化した講演会を開催し、当地域の知られざる歴史文化を多くの市民に周知する機会を設けました。

講演テーマ	講 師	開催日	参加者数
古時計の解説とその魅力について	古時計コレクター 宮崎 照夫氏	6月中の毎週土曜・日曜 ときのきねんび展会場	延 45名
見てみて鉄道写真 連動企画 あま市を走る名鉄津島線の魅力	鉄道愛好家 後藤 慎哉氏	3月19日(日) 美和文化会館内 シルバーカレッジ教室	25名

○文化体験講座

館所蔵の古文書を活用し歴史文化体験講座を開催し、歴史への探求心を呼び起こす契機としました。

講座名	講 師	開催日	開催場所	参加者数
古文書解説講座	藤井 智鶴氏	6月～3月 10回	美和文化会館内 シルバーカレッジ教室 (2月のみ美和情報ふれあいセンター)	延 200名

お香講座 「お線香&匂い袋を 作ってみよう」	竹内 香織氏	10月15日(土) 22日(土)	美和文化会館内 シルバーカレッジ教室	延28名
------------------------------	--------	---------------------	-----------------------	------

○歴史ガイドボランティア養成講座

散策や研修会を通じ、歴史ガイドボランティアの養成を行いました。

内 容	開催日	活動場所	参加者数
つまみぐい散策	4月17日(日)	丹波、蜂須賀	17名
	5月14日(土)	蜂須賀、稲沢市目比町	14名
	6月11日(土)	伊福	26名
	8月6日(土)	富塚	11名
	9月10日(土)	東溝口、稲沢市込野町	14名
	3月11日(土)	新居屋橋	11名
ガイド研修会	4月1日(金)	桶狭間古戦場跡の散策	15名
	12月2日(金)	清洲城周辺の散策	17名
	3月3日(金)	岡崎城周辺の散策	18名

○移動博物館

歴史民俗資料館の収蔵品を教室へ持ち出し、昔のくらしと生活道具についての授業を実施し、子どもたちに当地域のかつての暮らしぶりを伝え、考えてもらう機会を提供しました。

講座名	内 容	開催日	開催場所	受講者数
移動博物館	小学3年生を対象に、昔のくらしの道具を授業で活用し、かつての当地域の暮らしを学習しました。	9月27日(火)	伊福小	60名
		1月19日(木)	正則小	61名
		1月24日(火)	篠田小	68名
		1月27日(金)	七宝小	67名
		1月31日(火)	甚目寺小	78名
		2月1日(水)	甚目寺西小	91名
		2月6日(月)	美和東小	45名

○検定事業

出前授業を通してあま市の歴史・文化を多くの児童に主体的に学んでもらう機会を提供しました。令和4年度は希望校のみの実施となりました。

講座名	内 容	開催日	開催場所	受検者数
あま市ものしりジュニア検定のための出前授業	小学6年生を対象に、学校に出向き、地域の歴史文化を伝える授業を行い、その後、各学校でジュニア検定に臨みました。	6月3日(金)	甚目寺小	105名
		10月7日(金)	甚目寺西小	52名
		1月12日(木)	甚目寺小	105名
		1月20日(金)	正則小	48名
		2月13日(月)	美和東小	49名
		2月22日(水)	篠田小	53名
		第12回あま市ものしり検定	一般(中学生以上)向けのあま市のご当地検定。	8月28日(日)

※ 市の歴史・文化を認識するための展示会および講演会等を実施し、郷土への理解と関心を高めるきっかけづくりを行いました。

・評価指標

各講座の参加者数、移動博物館及び出前授業の各学校からの依頼数

・評価に係るエビデンス

講座受付名簿、移動博物館等申請用紙

● 令和5年度も、歴史・文化の情報を発信し続けることにより、市内外の多くの方々に、市の誇る歴史・文化を伝え広められるよう事業を展開します。

・数値目標

各講座の参加者数の前年度からの5パーセント増加
 移動博物館及び出前授業の各学校からの依頼数の前年度からの3校増加

■文化財保護啓発事業

市民一人ひとりの文化財への理解と保護意識の普及と向上を目指し、歴史民俗資料館ほか、市内に点在する史跡、寺社の祭事等にあわせ各種事業を実施しました。

○文化財の保護活動、啓発活動

保護活動として、県天然記念物「下萱津のフジ」の藤棚修繕、国の重要文化財である甚目寺観音建造物群（南大門・三重塔・東門）にて文化財防火デー（火災訓練）を実施しました。

また、啓発活動として、県天然記念物「下萱津のフジ」の一般公開をしました。

	内 容
保護	●県天然記念物「下萱津のフジ」および藤棚の修復作業 引き続き天然記念物である幹に悪影響を及ぼさぬよう樹木医指示のもとフジの樹勢回復を促進させつつ、棚の修繕作業を行いました。
	●木造愛染明王坐像の移転 現在、名古屋市博物館に寄託中の木造愛染明王坐像を甚目寺本堂へ戻す工事を計画中であり、7月12日（火）に文化庁文化財第一課の井上調査官、田中調査官による現地指導を行いました。
	●甚目寺南大門の修復 甚目寺南大門の屋根、柿（こけら）の葺き替え工事を計画中であり、11月24日（木）に文化庁文化資源活用課の江島調査官（建造物）による現地指導を行いました。
啓発 (活用)	●県天然記念物「下萱津のフジ」一般公開 4月23日（土）に一般公開し、800名の来場者がありました。
	●愛知県民俗芸能大会（あま市大会）の実施 10月9日（日）、愛知県とあま市共催による民俗芸能大会を美和文化会館大ホールにて実施し、310名の入場者がありました。県内6団体による民俗芸能の披露を行い、あま市を代表し甚目寺説教源氏節もくもく座による人形浄瑠璃が披露され、市独自の文化を広くPRできました。
	●文化財防火デーの実施 1月26日（木）、甚目寺観音境内において海部東部消防署、あま市消防団等と協力して防火訓練を実施しました。

○刊行物

市の文化財や歴史を紹介するため、下記の刊行物を発行し、地域の魅力について情報を発信しました。

タイトル	内 容	備 考
美和歴史民俗資料館 甚目寺歴史民俗資料館 展示案内	美和歴史民俗資料館、甚目寺歴史民俗資料館の展示案内パンフレットを増刷しました。	蛇腹4つ折り、3,000部
資料館だより ニュースレター	年1回発行の資料館ニュースレターを作成しました。	A4版、6項、500部
あま市の戦国武将 改訂版	あま市出身の戦国武将を紹介する冊子を改訂しました。	A5版、24項、1,200部

※ 文化財保護の理解を深めると同時に、市民に対してその意識を高めることができました。

・評価指標

県天然記念物「下萱津のフジ」の来場者数、啓発実施数、刊行物の発行回数

・評価に係るエビデンス

来場者数、啓発事業の回数

- 幅広い世代に地域の歴史を伝え広められるよう継続して保護活動を実施します。

- ・数値目標

県天然記念物「下萱津のフジ」の来場者数を5パーセント増加
啓発実施回数の1回以上の増加

■文化財保存活用地域計画作成事業

本市が有する文化財を改めて洗い出すとともに、文化財の保存・活用に関する課題を整理し、地域の特徴や課題を踏まえ、市全体としての将来に向けた文化財の保存・活用の方針や取組を打ち出しました。

○受託業者の選定

あま市文化財保存活用地域計画作成支援業務公募型プロポーザル審査委員会を設置し、受託候補者選定の審査を行いました。

	申出者
受託候補者	ランドブレイン株式会社 名古屋事務所
次点候補者	株式会社 創建

○あま市文化財保存活用地域計画作成支援業務

契約期間 令和4年8月10日から令和5年3月31日

契約金額 4,510,000円

契約業者 ランドブレイン株式会社 名古屋事務所

○あま市文化財保存活用地域計画委員会

開催日	内容
8月25日（木）	第1回 あま市文化財保存活用地域計画委員会
10月5日（水） 10月6日（木）	歴史文化に関する市民アンケートの実施 歴史文化に関する中学生・高校生アンケートの実施
12月16日（金）	第2回 あま市文化財保存活用地域計画委員会
3月17日（金）	第3回 あま市文化財保存活用地域計画委員会

※ 委員会を開催し、文化振興の分野にて活動されている方々の意見を取り入れながら、計画作成を行いました。

- ・評価指標

なし

- ・評価に係るエビデンス

なし

- 令和5年度も継続して計画作成を実施します。

- ・数値目標

なし

■社会教育施設整備事業

市民が安全かつ快適に生涯学習活動を実施できるよう、社会教育施設に対し、次の整備工事を実施しました。

○甚目寺公民館空調整備工事

・事業内容 甚目寺公民館の空調中央監視装置の耐用年数が経過しているため、当該装置の更新工事を行いました。

・事業費 5,228,300円

○甚目寺公民館サッシ改修工事

・事業内容 甚目寺公民館3階視聴覚室・図書室の窓サッシが経年劣化により開閉できないなど、不具合が生じているため、改修工事を行いました。

・事業費 2,291,300円

○七宝公民館読書室空調機器設置工事

・事業内容 七宝公民館読書室の空調設備が経年劣化により稼働しないなど、不具合が生じているため、冷暖房兼用ウインドエアコンの設置工事を行いました。

・事業費 383,240円

○美和歴史民俗資料館空調設備更新工事

・事業内容 美和歴史民俗資料館の空調設備が経年劣化により稼働しないなど、不具合が生じているため、当該設備の更新工事を行いました。

・事業費 11,132,000円

※ これらの工事を実施したことにより、安全かつ快適な施設環境を提供することができました。

・評価指標

なし

・評価に係るエビデンス

なし

● 令和5年度も市民が安全かつ快適に生涯学習活動ができるよう、社会教育施設の整備を進めます。

・数値目標

なし

■文化会館施設整備事業

市民が安全かつ快適に文化活動を実施できるよう、次の整備工事を実施しました。

○美和文化会館空調設備更新工事

・事業内容 管理事務所・会議室系統、楽屋系統及び音響室の空調設備が、経年劣化により空調が稼働しないなど不具合が生じているため、更新工事を行いました。

・事業費 13,724,700円

※ この工事を実施したことにより、安全かつ快適な施設環境を提供することができました。

・評価指標

なし

・評価に係るエビデンス

なし

● 令和5年度も市民が安全かつ快適に文化活動ができるよう、文化会館施設整備を進めます。

・数値目標

なし

(3) スポーツ課

■あま市スポーツ推進計画

誰もが生涯にわたりスポーツに親しみ、健康で豊かな生活を送ることができるよう、スポーツ基本法や国の第3期スポーツ基本計画を踏まえ、本市の実情に応じたスポーツ振興を推進するため、「あま市スポーツ推進計画」を令和4年度末に策定しました。

○計画策定委員会

令和4年 8月3日	第4回あま市スポーツ推進計画策定委員会
令和4年11月4日	第5回あま市スポーツ推進計画策定委員会
令和5年2月13日	第6回あま市スポーツ推進計画策定委員会

○関係団体ヒアリング

本計画策定にあたり、関係企業及び団体4団体にヒアリングを実施しました。

令和4年8月 9日	あま市レクリエーション指導者クラブ
令和4年8月10日	株式会社ルネサンス（甚目寺）
令和4年8月23日	あま市身体障害者福祉協会
令和4年8月24日	豊田合成株式会社

○パブリックコメント

本計画の素案について、広く市民の皆様からご意見を募集するために実施しました。

令和4年12月8日～令和5年1月6日
意見数：1件

○あま市スポーツ推進計画策定支援業務

契約期間 令和4年6月1日から令和5年3月31日
契約金額 1,387,100円
契約業者 株式会社名豊

※ 策定委員会を開催し、スポーツの分野に関係する方々の意見を取り入れ、あま市スポーツ推進計画を策定しました。

・評価指標

なし

・評価に係るエビデンス

なし

● 令和5年度は、本計画に基づき、市民、スポーツ関係団体、企業、学校等と連携・協働し、本市のスポーツ振興に係る各種取組を推進します。

・数値目標

なし

■スポーツ教室

市民のニーズにあった各種スポーツ教室を開催し、継続的なスポーツや運動のきっかけづくりとするとともに、健康増進・体力向上を目的として、各種スポーツ教室を開催しました。

* 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部日程を変更、規模を縮小、期間を短縮して開催しました。

教室名	開催期間	開催場所	回数	対象	参加者数	内容
親子体操教室 (前期)	5月10日(火)～ 7月5日(火)	七宝 総合体育館	8回	親子 (2歳以上未就 園児)	7組 14名	親子と一緒に鉄棒・マ ット・跳び箱運動等 を行い、運動の基本を習 得することを目的と して実施しました。
親子体操教室 (後期)	10月4日(火)～ 12月6日(火)	七宝 総合体育館	8回		6組 12名	
親子体操教室①	6月7日(火)～ 2月14日(火)	甚目寺 総合体育館	15回	親子 (1・2 年生)	9組 18名	
親子体操教室② ※午後4時～5時	6月14日(火)～ 2月28日(火)	甚目寺 総合体育館	15回	親子 (年中・ 年長)	13組 26名	
親子体操教室③ ※午後5時～6時	6月14日(火)～ 2月21日(火)	甚目寺 総合体育館	15回		8組 16名	
ボクシングエクササ イズ教室	5月17日(火)～ 7月19日(火)	七宝 総合体育館	6回	一般	22名	ボクシングエクササ イズを通して健康な 生活を送ることを目 的に実施しました。
肩こり・腰痛ケアスト レッチ教室	10月4日(火)～ 12月6日(火)	七宝 総合体育館	6回	一般	22名	家庭でもできるスト レッチを行い健康な 身体づくりを行う目 的に実施しました。
はつらつ健康教室 ～シニア運動教室～	10月6日(木)～ 12月1日(木)	甚目寺 総合体育館	8回	60歳 以上	10名	高齢者が自らの体力・ 健康を自覚して、自発 的な介護予防に向け た生活を送れること を目的として実施し ました。
ふれあいスポーツ ～子ども体育教室～ ① ※午後4時～5時	10月6日(木)～ 11月24日(木)	甚目寺 総合体育館	8回	年少	5名	子どもの成長や発達 過程から「動作の習 熟」を主眼に置き、楽 しくからだを動かす ことを目的として実 施しました。
ふれあいスポーツ ～子ども体育教室～ ② ※午後5時～6時	10月6日(木)～ 11月24日(木)	甚目寺 総合体育館	8回	年少	中止	
小学生夏休みスポー ツ教室(団体スポーツ 教室)	7月26日(火)～ 8月25日(木)	甚目寺 総合体育館	5回	小学生	30名	小学生を対象にスポ ーツを行いながら、団 体で行動することの 楽しさを教える教室 を実施しました。
小学生夏休みスポー ツ教室(団体スポーツ 教室)	7月22日(金)～ 8月26日(金)	美和公民館	5回	小学生	30名	
小学生夏休みスポー ツ教室(フットサル教 室)	7月22日(金)～ 8月26日(金)	七宝 総合体育館	5回	小学生 (1～3 年生)	22名	小学生を対象にフッ トサルを行いながら、 団体で行動すること の楽しさを教える教 室を実施しました。

※ 各種スポーツ教室を開催したことで、市民に対しスポーツや運動のきっかけづくりと健康増進・体力向上に寄与することができました。

・評価指標

参加者数

・評価に係るエビデンス

上記教室別一覧の参加者数

● 令和5年度も引き続き、市民のニーズにあった各種スポーツ教室を開催します。

・数値目標

全講座及び教室の定員合計の70%以上の参加者数

■スポーツ行事・大会

スポーツ活動のきっかけづくりや運動意欲を引き出すこと、またスポーツを通じた市民のふれあいや親睦、まちの活性化を目的として、各種事業を開催しました。

*** 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部事業を中止しました。**

行事・大会名	開催日	開催場所	参加者数	内容
市民ラジオ体操の集い	5月22日(日)	美和中学校 運動場	※ 中止	基本的な体操であるラジオ体操をもう一度見直し、ラジオ体操にふれあう機会を持ち、健康増進と体操を広く市民に普及することを目的に実施しました。 なお、美和地区は中止しています。
	6月26日(日)	甚目寺総合体育館 野外ステージ	150名	
	7月24日(日)	七宝北中学校 運動場	259名	
市民体力テスト	9月17日(土)	甚目寺総合体育館 メインアリーナ	35名	市民の体力・運動能力の現状を明らかにすることで、健康及び体力の保持、増進の意識を高め、継続を促すことを目的に実施しました。
市民歩け歩け会	10月23日(日)	余呉湖周辺ウォーキングコース (滋賀県長浜市)	※ 中止	あま市外にて、歩くことの楽しさを通じ、健康及び体力の保持・増進の意識を高め、継続を促すことを目的に実施予定でしたが、中止しました。
愛知万博メモリアル 第15回愛知県市町村 対抗駅伝競走大会	1月14日(土)	「愛・地球博記念公園」内、周回コース	監督1名 コーチ1名 選手18名	愛知県内各市町村の交流、市町村合併後の一体化の促進、市民意識の高揚、スポーツの振興を目的として参加しました。
市民走ろう・歩こう会	1月22日(日)	木曾三川公園 東海広場	229名	木曾三川公園にて走ったり歩いたりして、健康及び体力の保持・増進を目的に実施しました。

※ スポーツイベントを通じて市民に広くスポーツに親しんでいただくとともに、参加者同士の親睦が深まり、スポーツの振興とまちの活性化に資することができました。

・評価指標

参加者数

・評価に係るエビデンス

市民ラジオ体操の集い・・・・・・・・・・409名(2会場)

市民体力テスト・・・・・・・・・・35名

市民歩け歩け会・・・・・・・・・・中止

愛知県市町村対抗駅伝競走大会・・・市の部38市のうち27位(敢闘賞)

走ろう・歩こう会・・・・・・・・・・229名

● 今後も、より多くの市民が参加したくなるようなスポーツ行事・大会を開催します。

・数値目標

市民ラジオ体操の集い・・・・・・・・・・600名(3会場)

市民体力テスト・・・・・・・・・・50名

市民歩け歩け会・・・・・・・・・・120名

愛知県市町村対抗駅伝競走大会・・・市の部38市のうち26位

走ろう・歩こう会・・・・・・・・・・240名

■社会体育団体育成事業

『あま市スポーツ協会』

スポーツ振興を図るとともに、市民の体力向上と健康増進に寄与することを目的とし、市のスポーツ振興を積極的に行っている「あま市スポーツ協会」に対し補助金を交付しました。

○あま市スポーツ協会補助事業

・市民大会（14種目17大会）

* 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部事業を中止しました。

大会名	開催日	開催場所	参加者数
第13回 市民ソフトテニス大会 (一般・壮年の部) (中学生の部)	4月3日(土)～ 10日(日)	七宝・甚目寺 テニスコート	227名
第13回 市民軟式野球大会	5月8日(日) ～29日(日)	七宝・美和・森 グラウンド	459名
第13回 市民ビーチボール大会	6月26日(日)	甚目寺総合体育館	142名
第13回 市民9人制バレーボール大会	7月3日(日)	甚目寺総合体育館	72名
第13回 市民インディアカ大会	8月7日(日)	甚目寺総合体育館	40名
第6回 市民柔道大会兼市長杯	10月2日(日)	美和中学校 誠友館 柔道場	中止
第13回 市民バドミントン大会	10月9日(日)	甚目寺総合体育館	50名
第11回 市民レク・インディアカ大会	10月30日(日)	七宝総合体育館	40名
第13回 市民ソフトボール大会 (一般男子の部)	11月6日(日) 13日(日)	七宝鷹居グラウンド 森遊水地グラウンド	189名
第13回 市民サッカー大会	11月6日(日) 13日(日)	七宝北中学校 蜂須賀グラウンド	260名
第11回 市民弓道大会	11月13日(日)	甚目寺総合体育館	20名
第13回 市民グラウンド・ゴルフ大会	11月19日(土)	二ツ寺親水公園	192名
第13回 市民ゲートボール大会	11月24日(木)	森ゲートボール場	38名
第13回 市民卓球大会 (中学生の部)	12月10日(土)	七宝総合体育館	140名
第13回 市民卓球大会 (一般の部)	12月11日(日)	七宝総合体育館	143名
第13回 市民ソフトボール大会 (一般女子) (中学生の部)	12月11日(日)	七宝鷹居グラウンド	74名
第12回 市民空手道選手権大会	1月15日(日)	甚目寺総合体育館	90名
第13回 市民ソフトバレーボール大会	2月26日(日)	甚目寺総合体育館	104名

・ 競技種目事業（7種目8事業）

* 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部事業を中止しました。

事業名	開催日	開催場所	参加者数
硬式空手審判講習会	4月24日(日)	甚目寺総合体育館	中止
バドミントン技術講習会	5月8日(日)	七宝総合体育館	26名
ゲートボール審判講習会	5月8日(日)	川部ゲートボール場	36名
ソフトバレーボール審判講習会	5月22日(日)	甚目寺総合体育館	28名
ビーチボール審判講習会	7月10日(日)	美和東小学校	41名
家庭婦人バレーボール審判研修会	10月1日(土)	甚目寺総合体育館	31名
軟式野球審判講習会	2月12日(日)	美和小学校	67名
ソフトボール審判講習会	2月12日(日)	七宝鷹居グラウンド	53名
ソフトボール記録講習会	3月19日(日)	七宝総合体育館	27名

- ・ 令和4年度あま市スポーツ協会研修会
 ※あま市スポーツ少年団と合同開催
 開催日：令和5年10月15日(土)
 会場：美和公民館 講堂兼体育場
 参加者数：58人（うちスポーツ協会関係者33人）
- ・ 令和5年あま市スポーツ協会総合開会式及びスポーツ講習会
 開催日：令和5年2月19日(日)
 会場：甚目寺公民館 大ホール

『あま市スポーツ少年団』

スポーツを通じて青少年のスポーツ振興を図るとともに、心身の健全な育成に寄与することを目的とし、市のスポーツ少年団振興を積極的に行っている「あま市スポーツ少年団」に対し補助金を交付しました。

○あま市スポーツ少年団補助事業

- ・ 令和4年度あま市スポーツ少年団本部指導者等研修会
 ※あま市スポーツ協会と合同開催
 開催日：令和4年10月15日(土)
 会場：美和公民館 講堂兼体育場
 参加者数：58人（うちスポーツ少年団関係者25人）
- ・ 愛知県スポーツ少年大会西尾張支部大会
 7団体が大会に出場し、大会派遣費を補助しました。
 野球・サッカー・柔道・剣道・卓球・ソフトボール・バレーボール
- ・ 令和4年度あま市スポーツ少年団本部交流会
 開催日：令和5年1月28日(土)
 会場：七宝総合体育館
 参加者数：379人
- ・ 令和4年度あま市スポーツ少年団本部卒団式
 開催日：令和5年3月4日(土)
 会場：美和文化会館 大ホール
 参加者数：102人

『NPO法人あまスポーツクラブ』

誰もが生涯を通じて気軽に参加でき、地域交流を深め、市民の健康を増進することを目的とし、市民のスポーツ振興及びレクリエーションを積極的に行っている「あまスポーツクラブ」に対し補助金を交付しました。

○あまスポーツクラブ補助事業

・年間講座（18講座）

講座名	開催日	開催場所	回数	参加者数
まっちゃんのなわとび教室	4月19日(火)～ 3月7日(火)	七宝総合体育館	20	25名
バランスボール	4月26日(火)～ 3月14日(火)	甚目寺総合体育館	20	14名
みんなでビーチボール入門	4月26日(火)～ 3月14日(火)	七宝総合体育館	20	39名
ジュニアバスケットボール	4月26日(火)～ 7月26日(火)	甚目寺東小学校	7	31名
夜のリラクゼーションヨガ	4月26日(火)～ 3月14日(火)	七宝総合体育館	20	18名
シニアバランスボール	4月20日(水)～ 3月1日(水)	七宝総合体育館	20	14名
健康フラダンス	4月20日(水)～ 3月15日(水)	七宝総合体育館	20	20名
ビューティーフラダンス	4月27日(水)～ 3月8日(水)	甚目寺総合体育館	20	12名
脳も鍛える健康体操	4月27日(水)～ 3月8日(水)	上萱津コミュニティ 防災センター	20	15名
親子のびのび運動 A(水)・B(木)	4月27日(水)～ 3月8日(水)	甚目寺総合体育館	20	7組 14名
開運美姿勢ヨガ	4月21日(木)～ 3月2日(木)	甚目寺総合体育館	20	22名
キッズバランスボール	4月21日(木)～ 3月2日(木)	七宝総合体育館	20	22名
スポーツ吹き矢	4月28日(木)～ 3月9日(木)	上萱津コミュニティ 防災センター	20	17名
ハッピーヨガ	4月15日(金)～ 3月3日(金)	七宝総合体育館	20	26名
ビューティヨガ	4月15日(金)～ 3月3日(金)	七宝総合体育館	20	30名
骨盤ワーク	4月22日(金)～ 3月14日(火)	七宝総合体育館	20	27名
バドミントン入門	4月23日(土)～ 3月18日(土)	七宝北中学校	20	41名
健康エクササイズ	4月28日(木)～ 3月9日(木)	甚目寺総合体育館	20	17名

・特別講座（4講座）

講座名	開催日	開催場所	回数	参加者数
走り方教室	4月23日(日) 4月30日(日)	七宝北中学校	2	12名
かけっこ教室	6月11日(日) 6月25日(日)	七宝北中学校	2	19名
わくわく運動遊び教室	7月2日(土)～ 3月18日(土)	甚目寺総合体育館	9	6名

三地区巡回健康サロン	7月8日(金)～ 12月9日(金)	美和情報ふれあい センター 甚目寺公民館 七宝総合体育館 (中止)	6	8名
------------	----------------------	---	---	----

・大会及びイベント（4回）

大会・イベント名	開催日	開催場所	参加者数
春季あまちゃんラージボール卓球大会	5月8日(日)	甚目寺総合体育館	240名
ドッジビー交流大会	9月24日(土)	甚目寺総合体育館	30名
秋季あまちゃんラージボール卓球大会	9月11日(日)	甚目寺総合体育館	240名
ドッジボール大会	3月18日(土)	甚目寺総合体育館	40名

- ※ あま市スポーツ協会が行う事業を支援することにより、市民の体力向上と健康増進に寄与することができました。
- ※ あま市スポーツ少年団が行う事業を支援することにより、青少年の心身の健全な育成に寄与することができました。
- ※ あまスポーツクラブが実施する事業を支援することにより、市民が気軽にスポーツ及びレクリエーションに参加できることで地域交流を深めるとともに、健康増進に寄与することができました。

・評価指標

あま市スポーツ協会

市民大会種目数、大会数、参加者数

競技種目数、事業数、参加者数

あま市スポーツ少年団

研修参加者数

事業参加者数

あまスポーツクラブ

講座数、開催数、参加者数

・評価に係るエビデンス

あま市スポーツ協会

市民大会種目数、大会数、参加者数・・・14種目、17大会、2,280名

競技種目数、事業数、参加者数・・・・7種目、8事業、309名

研修参加者数・・・・・・・・・・・・33名

あま市スポーツ少年団

研修参加者数・・・・・・・・・・・・25名

事業参加者数・・・・・・・・・・・・379名

あまスポーツクラブ

年間講座・・・・・・・・・・・・18講座、参加者404名

特別講座・・・・・・・・・・・・4講座、参加者45名

大会及びイベント・・・・・・・・・・・・4回、参加者550名

- 各団体について、スポーツ振興を図る観点から、市、団体の積極的な連携、協力が不可欠と考えられます。各団体と市が協力し合いながら、各種事業に取り組みます。

・数値目標

あま市スポーツ協会

市民大会種目数、大会数、参加者数・・・15種目、18大会、2,300名
 競技種目数、事業数、参加者数・・・・・・8種目、9事業、310名
 研修参加者数・・・・・・・・・・・・・・・・50名

あま市スポーツ少年団

研修参加者数・・・・・・・・・・・・・・・・30名
 事業参加者数・・・・・・・・・・・・・・・・380名

あまスポーツクラブ

年間講座・・・・・・・・・・・・・・・・22講座、参加者490名
 特別講座・・・・・・・・・・・・・・・・6講座、参加者130名
 大会及びイベント・・・・・・・・・・・・6回、参加者870名

■その他スポーツ事業

○夏休み学校プール開放事業

小中学校の夏休み期間中、児童生徒及び付添いの保護者を対象に、小学校プールを活用したプール開放事業を実施しました。

事業名	開催期間	実施場所	参加者数	内容
夏休み学校プール開放事業	7月21日～ 8月4日	七宝小学校 美和小学校 甚目寺南小学校	2,760名	小中学校の夏休み期間中、児童生徒の体力向上と健康増進を図るため、市内在住の小中学生及び付添いの保護者を対象に七宝小学校、美和小学校、甚目寺南小学校の学校プールを活用して実施しました。

※ プール開放事業を実施したことにより、児童生徒の体力向上と健康増進に資することができました。なお、参加者数は、過去最高となりました。

・評価指標

参加者数

・評価に係るエビデンス

参加者数2,760名

● 令和5年度も児童生徒の体力向上と健康増進に寄与するため実施します。

・数値目標

参加者数2,800名

(4) 学校給食センター課

■学校給食事業

学校給食センター課では、各小中学校や様々な機関と連携を図り、食育を推進しました。

○学校での食に関する指導

児童生徒の食への興味・関心の高揚、食に関する知識の向上を目指し、栄養教諭が指導計画を作成し、各学校で学級担任とT T授業を行いました。

- ・給食を生きた教材として活用し、指導しました。
- ・毎月、献立表や給食だより、盛り付け図などを配布することに加え、保護者及び教職員を対象に食育だより・食育メッセージを発行し、給食を通して食への関心を高めました。
- ・学校に出向いて直接指導するかわりに、栄養教諭が給食放送原稿や、給食について紹介する教材データを作成しました。

給食試食会

開催日	学校名	参加人数
令和4年6月17日(金)	七宝小学校	45名
6月22日(水)	伊福小学校	49名
6月22日(水)	甚目寺南中学校	23名
9月7日(水)	甚目寺小学校	43名
9月27日(火)	甚目寺中学校	26名
10月7日(金)	甚目寺南小学校	43名
10月20日(木)	甚目寺東小学校	40名
11月8日(火)	美和中学校	20名

○学校給食センター活動状況

開催日	行事名
令和4年4月4日(月)	5月分献立検討会
4月13日(水)	5月分物資選定委員会
4月27日(水)	6月分献立検討会
5月13日(金)	6月分物資選定委員会
6月1日(水)	7月分献立検討会
6月14日(火)	7月分物資選定委員会
6月16日(木)	第1回学校給食センター運営検証委員会
6月29日(水)	第1回あま市立学校給食センター運営委員会
7月1日(金)	9月分献立検討会
7月12日(火)	8月、9月・後期分物資選定委員会
7月14日(木)	第2回学校給食センター運営検証委員会
9月2日(金)	10月分献立検討会
9月13日(火)	10月分物資選定委員会

9月14日(水)	第3回学校給食センター運営検証委員会
9月29日(木)	第2回あま市立学校給食センター運営委員会 書面会議
9月30日(金)	11月分献立検討会
10月12日(水)	11月分物資選定委員会
11月1日(火)	12月分献立検討会
11月2日(水)	第4回学校給食センター運営検証委員会
11月10日(木)	12月分物資選定委員会
11月29日(火)	1月分献立検討会
12月9日(金)	1月分物資選定委員会
12月21日(水)	2月分献立検討会
令和5年1月11日(水)	2月分物資選定委員会
1月31日(火)	第1回あま市学校給食センター調理・配送等 業務プロポーザル審査委員会
2月1日(水)	3月分献立検討会
2月10日(金)	3月分物資選定委員会
2月17日(金)	第1回あま市給食における食物アレルギー対 応検討委員会
2月22日(水)	第3回あま市立学校給食センター運営委員会
2月27日(月)	第2回あま市学校給食センター調理・配送等 業務プロポーザル審査委員会
2月28日(火)	4月分献立検討会
3月10日(金)	4月・前期分物資選定委員会

○あま市学校給食センターの施設見学及び試食

あま市立小学校、中学校及び保育園の児童生徒及び園児の保護者をはじめ、より多くの地域住民等が学校給食の趣旨等について理解を深めるとともに、未来を担う児童等の心身の健全な発達に寄与するため、あま市学校給食センターの施設見学及び試食を実施しました。

・地域住民

開催日	区分	目的	参加人数
6月7日(火)	施設見学及び試食	施設見学及び試食	14人
9月5日(月)	施設見学及び試食	子育て支援活動の一環 として学ぶため	11人
9月6日(火)	施設見学及び試食	施設見学及び試食	8人
11月8日(火)	施設見学及び試食	シルバーカレッジ授業	33人

1月10日(火)	施設見学及び試食	施設見学及び試食	6人
2月24日(金)	施設見学及び試食	施設見学及び試食	15人

・課外授業

公立小学校及び保育園の課外授業の一環として、施設見学を受け入れました。

小学校

開催日	学校名	参加人数
5月18日(水)	美和東小学校	48人
12月21日(水)	美和小学校	51人

保育園

開催日	保育園名	参加人数
4月26日(火)	五条保育園	28人
4月27日(水)	聖徳保育園	25人
4月28日(木)	新居屋保育園	29人
5月10日(火)	大花保育園	31人
6月9日(木)	萱津保育園	18人
6月20日(月)	七宝北部保育園	30人
6月21日(火)	昭和保育園	33人
6月22日(水)	昭和保育園	33人
6月23日(木)	正則保育園	28人
6月24日(金)	篠田保育園	32人

※ 各学校では、学校給食の献立作成等に携わる栄養教諭が各学級を巡回し、児童生徒が食べている状況を見たり話をしたりすることで現状を把握し、献立に取り入れることができました。

栄養教諭が、各学校の健康教育の取組に関わることで、食を話題として取り上げる機会を増やすことができ、児童生徒・教職員が食への関心をもつことができました。児童生徒及び園児にアンケートを実施し、食べたいものを調査して献立作成に活用する、「リクエスト給食」を1月・2月に16回実施しました。

・評価指標

なし

- ・評価に係るエビデンス
なし
- 引き続き、各学校の健康教育の取組に積極的に参加し、児童生徒及び教職員に加え、保護者の食への興味・関心を高めることで、食育を推進していきます。
- ・数値目標
なし

7. 学識経験者による意見

学識経験者名	小島 基生 (元弥富市立弥富北中学校長)
--------	----------------------

1 はじめに

新型コロナウイルス感染症の流行により、今までどおりの教育活動が不可能になって3年以上が経過した。そして、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが2類から5類に変更され、通常の教育活動に戻りつつある。このような状況を踏まえ、教育立市を目指すあま市及びあま市民の願いが達成されるよう、令和4年度の教育委員会の取組に対して所見を述べさせていただく。

2 学校教育課について

(1) 小中学校 ICT化推進事業

国の「GIGAスクール構想」の実現のため、素晴らしいICT環境を整えていただいた。また、この環境を活用するための研修、ICT支援員の配置等の取組を行っている。さらには、学習におけるICT活用だけでなく、ICTによる教育改革、教職員の働き方改革への利活用を推進し、学校現場の声を施策に反映させようとしている取組も素晴らしい。1人1台端末(タブレット)のさらなる活用に向けた取組をお願いしたい。

(2) スクールサポーター配置事業

私の記憶によれば、旧甚目寺町の教職補助員事業に端を発した事業であると認識している。この事業が合併後も継続し、なおかつ事業規模を拡大していることに敬意を表す。何より子どもたちの学習支援を充実させ、教員の多忙化解消にも役立つ素晴らしい事業であると考えます。さらに、スクールサポーターのスキルや専門性を高めるなど充実発展させていただきたい。

(3) 人権教育(あま市小中学校人権教育研究会)

人権教育は教育の基盤をなすものと考えている。あま市人権教育研究会の成果を市内外に発信し、人権教育の重要性を啓発してほしい。そして、「特別の教科道徳」を中心に、教育活動の全般をとおして、人権教育を推進していただきたい。

(4) 教育相談センター事業

「学校教育支援事業」「教育相談事業」「適応指導教室事業」の三つを柱として行っている事業は、家庭環境が複雑化した現在に即した役割を果たしている。ヤングケアラーに代表される家庭環境の課題に対応するためには、学校だけでは無理である。そうした環境においても、子どもたちの学びを保証しなくてはならない。そのために、スクールカウンセラーよりスクールソーシャルワーカーの役割が重要な時代になったと感じている。「あま市教育立市プラン」の「施策2:いじめ・不登校を生まない環境づくりと早期対応に向けた取組」のなかに、「スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの活用」と明記されている。あま市において、すみやかなスクールソーシャルワーカーの導入を期待する。あま市の子どもたちの中にも、スクールソーシャルワーカーの助けを必要とする子どもが少なくないと思う。子どもたちに関わる市長部局や関係諸機関と連携したスムーズな対応により、多くの子どもたちが救われることを願う。

(5) 学校運営協議会

あま市では、令和元年度からすべての小中学校に学校運営協議会が設置され、コミュニティスクールとして地域と一体となって子どもたちを育む、地域に密着した学校づくりを推進している。その成果を各小中学校で共有しコミュニティスクールとしての発展を目指してほしい。ただし、学校に負担がかかるものであってはならないと考えている。学校ボランティアや学びの支援、子どもたちの地域へのボランティアなど、できることから持続可能な取組を期待する。

3 生涯学習課について

(1) 生涯学習推進本部事業

あま市生涯学習推進基本計画の基本理念「学びのスパイラル 学び・つながり・かかわって 一豊かな地域社会を目指して」に則り、生涯学習を進めていただいていることが素晴らしい。学校教育と社会教育の連携・融合と言われて久しいが、これ

こそ「学びのスパイラル」ではないかと考える。学校教育も生涯学習の一部である。そのために、各小中学校がコミュニティスクールであることも活用しながら、学びのスパイラルを実現していただくことを期待している。

(2) 家庭教育推進事業

核家族化が進んでいる現状の中、親同士のつながりや子育てについて知識を広げることができるよういろいろな事業を展開していることが、大きな成果を収めていると考える。親は全員初心者である。育児不安やストレスは当たり前である。このような状況の中、親同士のつながりができることが一番である。さらに、両親が二人とも働いていることが当たり前である現状を踏まえ、難しいことかもしれないが、土日や休日にこうした機会を増やせるとよい。社会全体で子育てや家庭教育を応援していきたい。

(3) 美和図書館事業

企画展示や各種講座・講演会・読み聞かせ会などが大変充実しており、図書館利用の促進に貢献している。デジタル社会となり、活字離れを危惧する状況の中、とても貴重な取組と考える。こうした取組は子育て支援や地域のコミュニケーションにも資する取組である。地域のコミュニティセンター的な働きも期待している。また、活字とICTを組み合わせた取組を工夫するなど、時代に即した図書館事業の進展も期待している。

4 スポーツ課について

令和4年度末に策定された「あま市スポーツ推進基本計画」に基づき、「元気と笑顔あふれるスポーツのまち あま」の実現を目指してほしい。健康で長生きすることは、人としての大きな幸せのひとつである。そのために、継続的な運動習慣の定着を目指した各種教室の開催を今後も期待している。また、学校部活動の地域部活動への移行についての取組も期待している。

5 学校給食センター課について

毎日、多くの子どもたちのために、安心安全な給食を当たり前提供していただいていることに敬意を表す。献立を工夫するだけでも大変であるのに、多様なアレルギー、宗教上の制約等、個別の対応も必要な状況である。これらを含めて、安心安全でおいしい給食を提供することは、並大抵の努力ではないと思う。さらに、職員定数的に困難であることは承知しているが、栄養教諭による食育指導の充実も期待している。

6 おわりに

今、日本で一番の話題は少子化対策である。政府は「異次元の少子化対策」と銘打って、経済的支援・子育てサービス・共働き支援等を柱とした施策を発表している。しかし、若い世代が安心して出産し子どもを育てるためには、教育分野への支援も不可欠である。「教育にはお金がかかる」ということを、しっかりと意識した取組を期待したい。そのうえで、市教委として何をすべきか、何ができるのかを真剣に考え取り組んでいく時代である。50年、100年後もたくさん子どもたちが生き生きと生活するあま市でありたい。

コロナ禍がおさまらない中、新型コロナウイルス感染症感染予防対策をとりながら、できることを検討し、それぞれの活動を精力的に展開していただいた教育委員会の取組に敬意を表したい。教育の抱える諸問題に真摯に向き合い、様々な施策を実施している様子を窺うことができた。事業の一部に対する評価に過ぎないが、令和4年度教育委員会の取組について所見を述べさせていただきたい。

1 学校教育課について

(1) 小中学校ICT化推進事業

ICTの活用については、機械的なドリル学習のような「とにかく使う」から「どのような使い方をするのか」が問われるようになってきている。今回、ICT支援員が配置され、GIGAスクール構想の実現に向けた教育委員会の積極的な取組が窺える。

今後、ICT支援業務の具体的な取組として、ICT活用の指導力の向上や授業改善を期待するとともに、それに関わる教員と支援員との役割分担も明確にしていきたい。また、あわせてネットリテラシー教育も計画的に進めていくことを期待する。

(2) スクールサポーターの配置事業

個別の支援が必要な児童生徒が増加している状況の中で、本事業は学校現場にとってかせない事業である。教員とスクールサポーターが児童生徒の特性を共有することにより、教材準備や授業等の質が向上してよりきめ細やかな指導がみられる。

一方、教員が一人で取り組んできた業務を分担することで、「児童・生徒に向き合う時間が増える」「精神的な余裕を持てるようになる」等のメリットがあり、本来の業務に集中でき働き方改革にもつながっていると考える。これからも、各学校へ柔軟な配置を期待したい。

(3) 教育相談センター事業

様々な悩みを抱える児童生徒や保護者に対して、学校とともに多様な専門家の支援による相談体制をつくっていくことが大切である。本事業では「保護者等からの相談窓口としての役割」「専門家による問題解決のための新たな視点の提供」等により、支援の成果が窺われる。

何よりも問題の早期発見と継続的な相談活動の在り方が大切である。そのために今後は、相談機関の利用促進に向けた周知徹底と広報、学校の対応能力向上に向けた啓発（教育相談に対する教員の意識の向上と校内体制の充実）を進めていきたい。

(4) 学校運営協議会（コミュニティスクール）

家庭や地域の協力を得ながら人的・物的な体制を整え、教育活動を展開することが重要である。各校においては、特色を活かしながら保護者、地域住民と連携・協働して子どもたちを育てる学校づくりを進めている。しかし、ともすると新しい活動をつくることによって教員の負担となり、活動をこなせばよいという表面的な活動になってしまうこともある。地域の子どもは地域が育てるという視点で、保護者や地域の方が主体的に取り組むように進めていきたい。

2 生涯学習課について

いまだ続くコロナ禍にあって、社会で生きがいを持ち続け心豊かな生活を送るために、市民の学習ニーズやさまざまな年齢層に応じた学習機会を提供してきた。また、生涯学習推進本部を設置することにより、生涯学習事業の進捗確認と評価を実施し、事業評価の見直しも図る等、真摯な取組を評価したい。

「公民館事業」では地域住民が気軽に立ち寄り、事業等様々な活動の場を提供し、地域コミュニティの形成につながっている。これからも、家庭教育への支援や環境問題等の現代的課題に対する対応、学習の成果を生かすような機会の提供、就業等のための実践的・

専門的な学習機会の提供等を期待したい。

「文化財保存活用地域計画作成事業」では、市が有する文化財を改めて洗い出し、将来に向けた文化財の保存・活用方針や取組を打ち出した。文化財を大切に守ろうとする住民の意識も高まっていくと考える。

「子ども・若者支援事業」は、困難を抱えた子ども・若者に対して相談窓口を運用し、個々の状況に応じたきめ細かな支援をしている。子どもや若者が自らの居場所を得て成長・活躍できる社会の実現に向けた取組であり、今後も公的機関・民間団体と協働して育成・支援を期待したい。

「あま発未来創造塾」では、若者と市長・教育長との対話の場を設けられている。この取組は、自分たちの声が尊重されていることを実感できる機会であり、市政への参画意識も高めている。今後もあま市の未来について、若者と共に考える協働のまちづくりを実現する活動を期待する。

3 スポーツ課について

「スポーツ教室」では市民へスポーツや運動の機会を提供し、「スポーツ行事・大会」においては、広くスポーツに親しみながら地域のつながりが窺える。コロナ禍のため内容を縮小した事業もあったが、多様なスポーツ・運動を幅広い年代の市民に提供し、健康増進と体力向上や地域交流を深める取組に高く評価したい。

また、スポーツを推進する上で取り組むべき目標や取組の具体的な内容をまとめた「あま市スポーツ推進計画」を策定した。今後は本計画に基づき、スポーツ関係団体、民間クラブ、企業、学校などが連携・協働し、地域ぐるみのスポーツ推進をより一層期待したい。

4 学校給食センター課について

令和元年にあま市学校給食センターを開所以来、「食育の推進」に向けて充実した取組が窺える。食に関する興味関心を高めるために、小中学校では栄養教諭と担任によるTT授業、保護者へも「給食試食会」を実施したり、「食育だより・食育メッセージ」を発行したりしている。また、園児や地域住民へも「施設見学及び試食」を実施することにより、学校給食等の趣旨等について多くの理解を深めている。さらに、児童生徒及び園児に「リクエスト給食」を実施し、食への関心をより高める取組を行っている。今後も栄養バランスのとれた豊かな食事を提供することにより、健康の増進、体位の向上を図ることに加え、食に関する指導を効果的に進めていくことを期待したい。

一方、食物アレルギーの児童生徒及び園児は増加傾向にある。食物アレルギー対応の委員会の設置、対応の基本方針の策定等、安心安全な給食の提供に向けた真摯な取組みを評価したい。